

学校コード F101110100029

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

注2

北海道教育大学大学院

教育学研究科

専門職学位課程

高度教職実践専攻

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人北海道教育大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部企画課

職名・氏名 係長・^{カミヤマ マコト}上山 真

電話番号 011-778-0306

（夜間） 011-778-8811

e-mail s-kikaku@j.hokkyodai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、

当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

教育学研究科 専門職学位課程

＜高度教職実践専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	34
4. 既設大学等の状況	35
5. 教員組織の状況	36
6. 附帯事項等に対する履行状況等	87
7. その他全般的事項	88

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人北海道教育大学

(2) 大学名

北海道教育大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒002-8501

北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(ジャアナ ハルオ) 蛇穴 治夫 (平成27年10月)		
学部長	該当なし		
教職大学院長 (専攻の長)	(ヤスカワ サダアキ) 安川 禎亮 (令和元年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学研究科 専門職学位課程 高度教職実践専攻 教職修士（専門職）	教員養成関係	2 年	80 人	年次 人	160 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	80人	—人	80人	—人			0.82倍	—倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A							0.96		0.68						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください）。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	77 [-] (-)	- [-] (-)	55 [-] (-)	- [-] (-)	令和3年度入学者のうち、北海道教育委員会及び札幌市教育委員会からの派遣による現職教員17名は、短期履修学生制度の利用により、令和4年3月に修了した。
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	60 [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	77 [-] (-)	[] ()	115 [-] (-)	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	77人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	115人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{115} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学研究科 専門職学位課程 高度教職実践専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通必修科目	A 今日的学力・能力観とカリキュラム・マネジメント	1①	1			1						兼1
	A インクルーシブ教育の理念と教育課程	1④	1			1						
	B ICTを活用した教育の実践と課題	1③	1			1						
	B アクティブ・ラーニングの理論と実践	1②	1			1						
	B 特別支援教育の視点からの学習指導	1②	1			1						
	C 子どもの発達と学習	1①	1			1						
	C 教育相談の理論と実際	1④	1			1						
	C 生徒指導の実際と今日的課題	1③	1			1						
	D 学級・学年経営の理論と実践	1①	1			1						
	D 学校危機管理の実際と課題	1③	1			1						
	E 教師のメンタルヘルスとエンパワメント	1②	1			1						
	E 学校における組織的な人材育成と授業改善	1④	1			1						
小計(12科目)	-	12	0	0	5	4	0	0	0	0	兼1	
共通科目	D 学校組織マネジメントの理論	1②	1			1						兼1
	D 管理職に求められるリーダーシップ	1①	1			1						
	E 学校運営と教育法規	1④	1			1						
	E 教員の働き方と校務の効率化	1③	1			1						
	小計(4科目)	-	0	4	0	3	1	0	0	0	0	
コース必修科目	E 教師としてのキャリア・デザイン	1①	1			1						兼1
	D 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題	1③	1			1						
	A 授業研究の理論と実践	1②	1			1						
	D カリキュラム・マネジメントのためのデータの分析と活用	1④	1			1						
	小計(4科目)	-	0	4	0	1	2	0	0	0	0	
子ども理解・学級経営コース	C 子どもと教師の関係づくり	1①	1			1						兼1
	C 子どもの問題行動の実際と実践的対応	1②	1			1						
	D 学級経営の実際と課題Ⅰ	1③	1			1						
	D 学級経営の実際と課題Ⅱ	1④	1			1						
	小計(4科目)	-	0	4	0	2	2	0	0	0	0	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通必修科目	A 今日的学力・能力観とカリキュラム・マネジメント	1①	1			1	0					兼1
	A インクルーシブ教育の理念と教育課程	1④	1			1						
	B ICTを活用した教育の実践と課題	1③	1			1						
	B アクティブ・ラーニングの理論と実践	1②	1			1						
	B 特別支援教育の視点からの学習指導	1②	1			1						
	C 子どもの発達と学習	1①	1			1						
	C 教育相談の理論と実際	1④	1			1						
	C 生徒指導の実際と今日的課題	1③	1			1						
	D 学級・学年経営の理論と実践	1①	1			1						
	D 学校危機管理の実際と課題	1③	1			1						
	E 教師のメンタルヘルスとエンパワメント	1②	1			1						
	E 学校における組織的な人材育成と授業改善	1④	1			1						
小計(12科目)	-	12	0	0	6	3	0	0	0	0	兼1	
共通科目	D 学校組織マネジメントの理論	1②	1			1						兼1
	D 管理職に求められるリーダーシップ	1①	1			1						
	E 学校運営と教育法規	1④	1			1						
	E 教員の働き方と校務の効率化	1③	1			1						
	小計(4科目)	-	0	4	0	3	1	0	0	0	0	
コース必修科目	E 教師としてのキャリア・デザイン	1①	1			1						兼1
	D 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題	1③	1			1						
	A 授業研究の理論と実践	1②	1			1	0					
	D カリキュラム・マネジメントのためのデータの分析と活用	1④	1			1						
	小計(4科目)	-	0	4	0	2	1	0	0	0	0	
子ども理解・学級経営コース	C 子どもと教師の関係づくり	1①	1			1	0					兼1
	C 子どもの問題行動の実際と実践的対応	1②	1			1						
	D 学級経営の実際と課題Ⅰ	1③	1			1						
	D 学級経営の実際と課題Ⅱ	1④	1			1						
	小計(4科目)	-	0	4	0	2	1	0	0	0	0	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	教科指導・授業開発コース	A 授業デザインの基礎	1①	1		1						
		B 教科等横断的な視点に立った授業開発	1②	1		1						
		B 学習評価の理論と実際	1③	1		1						
		B 総合的な学習の時間の実践と課題	1④	1		1						
	小計(4科目)		-	0	4	0	2	1	0	0	0	
	特別支援教育コース	A 特別支援教育の教育課程と授業の在り方	1①	1		1						
		C 特別支援教育における教育相談と保護者支援	1②	1		1						
		C 特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅰ	1③	1		1						
		D 特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅱ	1④	1		1						
		小計(4科目)		-	0	4	0	1	1	0	0	0
	養護教育コース	D 保健組織活動におけるマネジメント	1④	1		1						
		C 養護活動と保健教育	1②	1		1						
		C 養護実践の理論と方法	1①	1		1						
		E 子どもの心身の健康における協働的援助	1③	1		2						
		小計(4科目)		-	0	4	0	2	2	0	0	0
	定大科目	全コース	教育実践研究へのアプローチ	1①	1		1					
			北海道の教育課題解決へのアプローチ	1②	1		1					
		小計(2科目)		-	2	0	0	1	1	0	0	0
	特色ある教育領域大科学目	全コース	地域性を生かした総合的な学習	1・2④	1		2					
			道徳教育の理論と実践	1・2②	1		1					
プログラミング教育の実践と課題			1・2②	1		1						
へき地・小規模校の実際と課題			1・2①	1		1	2					
教育情報資源と学びの環境・指導			1・2③	1		1						
個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅰ			1・2③	1		1						
個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅱ			1・2④	1		1						
小計(7科目)		-	0	7	0	3	5	0	0	0		
コース科目	専門科目	学校組織マネジメントの実践的展開	1②	1		1						
		学校経営戦略の分析と策定	1①	1		1						
		社会に開かれた学校	1・2④	1		1						
		教育行政マネジメントの理論と実際	1・2③	1		1						

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	教科指導・授業開発コース	A 授業デザインの基礎	1①	1		1						
		B 教科等横断的な視点に立った授業開発	1②	1		1						
		B 学習評価の理論と実際	1③	1		1						
		B 総合的な学習の時間の実践と課題	1④	1		1						
	小計(4科目)		-	0	4	0	2	1	0	0	0	
	特別支援教育コース	A 特別支援教育の教育課程と授業の在り方	1①	1		1						
		C 特別支援教育における教育相談と保護者支援	1②	1		1						
		C 特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅰ	1③	1		1						
		D 特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅱ	1④	1		1						
		小計(4科目)		-	0	4	0	1	1	0	0	0
	養護教育コース	D 保健組織活動におけるマネジメント	1④	1		1			0			兼1
		C 養護活動と保健教育	1②	1		1			1			
		C 養護実践の理論と方法	1①	1		1			1			
		E 子どもの心身の健康における協働的援助	1③	1		2			2			
		小計(4科目)		-	0	4	0	2	1	0	0	0
	定大科目	全コース	教育実践研究へのアプローチ	1①	1		1					
			北海道の教育課題解決へのアプローチ	1②	1		1					
		小計(2科目)		-	2	0	0	1	1	0	0	0
	特色ある教育領域大科学目	全コース	地域性を生かした総合的な学習	1・2④	1		2					
			道徳教育の理論と実践	1・2②	1		1					
プログラミング教育の実践と課題			1・2②	1		1			0	1		
へき地・小規模校の実際と課題			1・2①	1		1	2			2	1	
教育情報資源と学びの環境・指導			1・2③	1		1			1			
個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅰ			1・2③	1		1			1			
個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅱ			1・2④	1		1			1			
小計(7科目)		-	0	7	0	3	5	0	0	0		
コース科目	専門科目	学校組織マネジメントの実践的展開	1②	1		1						
		学校経営戦略の分析と策定	1①	1		1						
		社会に開かれた学校	1・2④	1		1			1			
		教育行政マネジメントの理論と実際	1・2③	1		1			1			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース科目 専門科目	学校組織マネジメントコース	学校事務の職務と連携方策	1-22	1								兼1		
	小計(5科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	5	0	2	1	0	0	0	兼1		
	教職キャリア形成・研修デザインコース	教師の実践研究ネットワークの形成	1③		1			1						
		学級・授業づくりを通じた教師支援	1②		1		1							
		学校と教員の文化	1-23		1		1							
		校内研修デザインの理論と実践Ⅰ	1-23		1		1							
		校内研修デザインの理論と実践Ⅱ	1-24		1		1							
		小計(5科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	5	0	3	2	0	0	0		
	子ども理解・学級経営コース	子どもと社会	1①		1		5	4						
		キャリア教育の実際と課題	1③		1		1	2						
		授業における子どもの行動と心理	1②		1		1	5						
		子ども理解のためのアセスメント	1④		1		1	5						
		学級経営と授業づくり	1-23		1		1	3						
		道徳を基盤とした学級経営	1-23		1		2	1						
		現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり	1-22		1		1	3						
		教育課程編成と学級経営	1-24		1		3							
	小計(8科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	8	0	8	16	3	0	0			
	教科指導・授業開発コース	国語科教育	教科教育研究の理論(国語科教育)Ⅰ	1①		1		3	1					
			教科教育研究の理論(国語科教育)Ⅱ	1②		1		2	2					
			教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅰ	1③		1		2	2					
教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅱ			1④		1		1	3						
教科内容の体系(国語科教育)Ⅰ			1①		1		5	7	2					
教科内容の体系(国語科教育)Ⅱ			1②		1		4	8	2					
教科内容研究(国語科教育国語学分野)Ⅰ			1-23		1		1							
教科内容研究(国語科教育国語学分野)Ⅱ			1-23		1		1		1					
教科内容研究(国語科教育国語学分野)Ⅲ			1-23		1		1		1					
教科内容・教材開発(国語科教育国語学分野)Ⅰ			1-24		1		1							
教科内容・教材開発(国語科教育国語学分野)Ⅱ			1-22		1		1		1					
教科内容・教材開発(国語科教育国語学分野)Ⅲ			1-24		1		1		1					
教科内容研究(国語科教育国文学分野)Ⅰ	1-23		1		1		1							

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース科目 専門科目	学校組織マネジメントコース	学校事務の職務と連携方策	1-22	1		1						0		
	小計(5科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	5	0	3	1	0	0	0	0		
	教職キャリア形成・研修デザインコース	教師の実践研究ネットワークの形成	1③		1		1	0						
		学級・授業づくりを通じた教師支援	1②		1		1							
		学校と教員の文化	1-23		1		1							
		校内研修デザインの理論と実践Ⅰ	1-23		1		1							
		校内研修デザインの理論と実践Ⅱ	1-24		1		1							
		小計(5科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	5	0	4	1	0	0	0		
	子ども理解・学級経営コース	子どもと社会	1①		1		5	4						
		キャリア教育の実際と課題	1③		1		1	2						
		授業における子どもの行動と心理	1②		1		2	4						
		子ども理解のためのアセスメント	1④		1		2	4						
		学級経営と授業づくり	1-23		1		1	3						
		道徳を基盤とした学級経営	1-23		1		3	0						
		現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり	1-22		1		0	3					兼1	
		教育課程編成と学級経営	1-24		1		3							
	小計(8科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	8	0	8	16	2	0	0	兼1		
	教科指導・授業開発コース	国語科教育	教科教育研究の理論(国語科教育)Ⅰ	1①		1		3	1					
			教科教育研究の理論(国語科教育)Ⅱ	1②		1		3	1					
			教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅰ	1③		1		3	1					
教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅱ			1④		1		1	3						
教科内容の体系(国語科教育)Ⅰ			1①		1		6	5	2					
教科内容の体系(国語科教育)Ⅱ			1②		1		5	6	2					
教科内容研究(国語科教育国語学分野)Ⅰ			1-23		1		1							
教科内容研究(国語科教育国語学分野)Ⅱ(未開講)			1-23		1		0	1						
教科内容研究(国語科教育国語学分野)Ⅲ			1-23		1		1		1					
教科内容・教材開発(国語科教育国語学分野)Ⅰ			1-24		1		1							
教科内容・教材開発(国語科教育国語学分野)Ⅱ(未開講)			1-22		1		0	1						
教科内容・教材開発(国語科教育国語学分野)Ⅲ			1-24		1		1		1					
教科内容研究(国語科教育国文学分野)Ⅰ	1-23		1		1		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース 社会科教育	教科内容・教材開発(国語科教育国文学分野) I	1-24	1			1						
	教科内容研究(国語科教育漢文学分野) I	1-23	1		1							
	教科内容研究(国語科教育漢文学分野) II	1-23	1				1					
	教科内容・教材開発(国語科教育漢文学分野) I	1-24	1		1							
	教科内容・教材開発(国語科教育漢文学分野) II	1-22	1				1					
	教科内容研究(国語科教育書道分野) I	1-23	1				1					
	教科内容・教材開発(国語科教育書道分野) I	1-24	1				1					
	小計(20科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	20	0	5	8	2	0	0	
	教科教育研究の理論(社会科教育) I	1①	1			2	1	1				
	教科教育研究の理論(社会科教育) II	1②	1			1	2	1				
	教科教育研究の実践と展開(社会科教育) I	1③	1			2	1	1				
	教科教育研究の実践と展開(社会科教育) II	1④	1			1	2	1				
	教科内容の体系(社会科教育) I	1①	1			15	6	2				
	教科内容の体系(社会科教育) II	1②	1			15	6	2				
	教科内容研究(社会科教育歴史学分野) I	1-23	1			2	1					
	教科内容研究(社会科教育歴史学分野) II	1-23	1			1						
	教科内容研究(社会科教育歴史学分野) III	1-23	1			1						
	教科内容・教材開発(社会科教育歴史学分野) I	1-24	1			2	1					
	教科内容・教材開発(社会科教育歴史学分野) II	1-22	1			1						
	教科内容・教材開発(社会科教育歴史学分野) III	1-24	1			1						
	教科内容研究(社会科教育地理学分野) I	1-23	1			1	1					
	教科内容研究(社会科教育地理学分野) II	1-21	1			1						
	教科内容・教材開発(社会科教育地理学分野) I	1-24	1			1	1					
	教科内容・教材開発(社会科教育地理学分野) II	1-22	1			1						
	教科内容研究(社会科教育法律学分野) I	1-23	1			3						
	教科内容・教材開発(社会科教育法律学分野) I	1-24	1			3						
	教科内容研究(社会科教育社会学・経済学分野) I	1-23	1			1	1					
	教科内容研究(社会科教育社会学・経済学分野) II	1-21	1			1						
教科内容・教材開発(社会科教育社会学・経済学分野) I	1-24	1			1	1						
教科内容・教材開発(社会科教育社会学・経済学分野) II	1-22	1			1							

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース 社会科教育	教科内容・教材開発(国語科教育国文学分野) I	1-24	1			1						
	教科内容研究(国語科教育漢文学分野) I	1-23	1		1							
	教科内容研究(国語科教育漢文学分野) II	1-23	1				1					
	教科内容・教材開発(国語科教育漢文学分野) I	1-24	1		1							
	教科内容・教材開発(国語科教育漢文学分野) II	1-22	1				1					
	教科内容研究(国語科教育書道分野) I	1-23	1				1					
	教科内容・教材開発(国語科教育書道分野) I	1-24	1				1					
	小計(20科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	20	0	6	6	2	0	0	
	教科教育研究の理論(社会科教育) I	1①	1			2	1	1				
	教科教育研究の理論(社会科教育) II	1②	1			1	1	1				
	教科教育研究の実践と展開(社会科教育) I	1③	1			2	1	1				
	教科教育研究の実践と展開(社会科教育) II	1④	1			1	1	1				
	教科内容の体系(社会科教育) I	1①	1			13	3	1				
	教科内容の体系(社会科教育) II	1②	1			13	3	1				
	教科内容研究(社会科教育歴史学分野) I	1-23	1			2	1					
	教科内容研究(社会科教育歴史学分野) II	1-23	1			1						
	教科内容研究(社会科教育歴史学分野) III	1-23	1			1						
	教科内容・教材開発(社会科教育歴史学分野) I	1-24	1			2	1					
	教科内容・教材開発(社会科教育歴史学分野) II	1-22	1			1						
	教科内容・教材開発(社会科教育歴史学分野) III	1-24	1			1						
	教科内容研究(社会科教育地理学分野) I	1-23	1			1	1	0				
	教科内容研究(社会科教育地理学分野) II	1-23	1			1						
	教科内容・教材開発(社会科教育地理学分野) I	1-24	1			1	1	0				
	教科内容・教材開発(社会科教育地理学分野) II	1-22	1			1						
	教科内容研究(社会科教育法律学分野) I	1-23	1			3						
	教科内容・教材開発(社会科教育法律学分野) I	1-24	1			3						
	教科内容研究(社会科教育社会学・経済学分野) I	1-23	1			1	1	0				
	教科内容研究(社会科教育社会学・経済学分野) II	1-23	1			1						
教科内容・教材開発(社会科教育社会学・経済学分野) I	1-24	1			1	1	0					
教科内容・教材開発(社会科教育社会学・経済学分野) II	1-22	1			1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース	教科内容・教材開発(理科教育物理学分野)Ⅱ	1・22	1		1							
	教科内容・教材開発(理科教育物理学分野)Ⅲ	1・24	1		1		1					
	教科内容研究(理科教育化学分野)Ⅰ	1・23	1		1	1						
	教科内容研究(理科教育化学分野)Ⅱ	1・21	1		1							
	教科内容研究(理科教育化学分野)Ⅲ	1・23	1		1							
	教科内容・教材開発(理科教育化学分野)Ⅰ	1・24	1		1	1						
	教科内容・教材開発(理科教育化学分野)Ⅱ	1・22	1		1							
	教科内容・教材開発(理科教育化学分野)Ⅲ	1・24	1		1	1						
	教科内容研究(理科教育生物学分野)Ⅰ	1・23	1		2							
	教科内容研究(理科教育生物学分野)Ⅱ	1・21	1		1	1						
	教科内容研究(理科教育生物学分野)Ⅲ	1・23	1		1	1						
	教科内容・教材開発(理科教育生物学分野)Ⅰ	1・24	1		2							
	教科内容・教材開発(理科教育生物学分野)Ⅱ	1・22	1		1	1						
	教科内容・教材開発(理科教育生物学分野)Ⅲ	1・24	1		1	1						
	教科内容研究(理科教育地学分野)Ⅰ	1・23	1		2	1						
	教科内容研究(理科教育地学分野)Ⅲ	1・23	1		1							
	教科内容・教材開発(理科教育地学分野)Ⅰ	1・24	1		2	1						
	教科内容・教材開発(理科教育地学分野)Ⅲ	1・24	1		1							
	小計(28科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	28	0	14	7	3	0	0	
	音楽科教育	教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅰ	1①	1		1	4	1				
教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅱ		1②	1		1	4	1					
教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅰ		1③	1		1	4	1					
教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅱ		1④	1		1	4	1					
教科内容の体系(音楽科教育)Ⅰ		1①	1		2	1	1					
教科内容の体系(音楽科教育)Ⅱ		1②	1		2	1	1					
教科内容研究(音楽科教育声楽分野)Ⅰ		1・23	1		1							
教科内容研究(音楽科教育声楽分野)Ⅱ		1・21	1		1							
教科内容・教材開発(音楽科教育声楽分野)Ⅰ		1・24	1		1							
教科内容・教材開発(音楽科教育声楽分野)Ⅱ		1・22	1		1							
教科内容研究(音楽科教育器楽分野)Ⅰ		1・23	1		1							

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース	教科内容・教材開発(理科教育物理学分野)Ⅱ	1・22	1		1							
	教科内容・教材開発(理科教育物理学分野)Ⅲ	1・24	1		1		1					
	教科内容研究(理科教育化学分野)Ⅰ	1・23	1		1	1						
	教科内容研究(理科教育化学分野)Ⅱ (未開講)	1・21	1		1							
	教科内容研究(理科教育化学分野)Ⅲ	1・23	1		1							
	教科内容・教材開発(理科教育化学分野)Ⅰ	1・24	1		1	1						
	教科内容・教材開発(理科教育化学分野)Ⅱ (未開講)	1・22	1		1							
	教科内容・教材開発(理科教育化学分野)Ⅲ	1・24	1		1	0	1					
	教科内容研究(理科教育生物学分野)Ⅰ	1・23	1		2							
	教科内容研究(理科教育生物学分野)Ⅱ (未開講)	1・21	1		1	1						
	教科内容研究(理科教育生物学分野)Ⅲ	1・23	1		1	1	0					
	教科内容・教材開発(理科教育生物学分野)Ⅰ	1・24	1		2							
	教科内容・教材開発(理科教育生物学分野)Ⅱ (未開講)	1・22	1		1	1						
	教科内容・教材開発(理科教育生物学分野)Ⅲ	1・24	1		1	1	0					
	教科内容研究(理科教育地学分野)Ⅰ	1・23	1		2	1						
	教科内容研究(理科教育地学分野)Ⅲ	1・23	1		1							
	教科内容・教材開発(理科教育地学分野)Ⅰ	1・24	1		2	1						
	教科内容・教材開発(理科教育地学分野)Ⅲ	1・24	1		1							
	小計(28科目) ※この他、複数コース対応科目から選択		—	0	28	0	14	6	3	0	0	
	音楽科教育	教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅰ	1①	1		1	5	0				
教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅱ		1②	1		1	5	0					
教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅰ		1③	1		1	5	0					
教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅱ		1④	1		1	5	0					
教科内容の体系(音楽科教育)Ⅰ		1①	1		2	2	0					
教科内容の体系(音楽科教育)Ⅱ		1②	1		2	2	0					
教科内容研究(音楽科教育声楽分野)Ⅰ		1・23	1		1							
教科内容研究(音楽科教育声楽分野)Ⅱ (未開講)		1・21	1		1							
教科内容・教材開発(音楽科教育声楽分野)Ⅰ		1・24	1		1							
教科内容・教材開発(音楽科教育声楽分野)Ⅱ (未開講)		1・22	1		1							
教科内容研究(音楽科教育器楽分野)Ⅰ		1・23	1		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース	教科内容研究(音楽科教育器楽分野)Ⅱ	1-23	1			1							
	教科内容・教材開発(音楽科教育器楽分野)Ⅰ	1-24	1		1								
	教科内容・教材開発(音楽科教育器楽分野)Ⅱ	1-22	1			1							
	教科内容研究(音楽科教育音楽学分野)Ⅰ	1-23	1			2							
	教科内容・教材開発(音楽科教育音楽学分野)Ⅰ	1-24	1			2							
	小計(16科目) ※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	16	0	4	6	1	0	0			
	教科教育研究の理論(図画工作・美術科教育)Ⅰ	1①	1			3	1						
	教科教育研究の理論(図画工作・美術科教育)Ⅱ	1②	1			3	1						
	教科教育研究の実践と展開(図画工作・美術科教育)Ⅰ	1③	1			3	1						
	教科教育研究の実践と展開(図画工作・美術科教育)Ⅱ	1④	1			3	1						
	教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅰ	1①	1			5	4						
	教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅱ	1②	1			5	4						
	教科内容研究(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ	1-23	1			1	2						
	教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ	1-24	1			1	2						
	教科内容研究(図画工作・美術科教育彫刻分野)Ⅰ	1-23	1			1							
	教科内容研究(図画工作・美術科教育彫刻分野)Ⅱ	1-23	1			1							
	教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育彫刻分野)Ⅰ	1-24	1			1							
	教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育彫刻分野)Ⅱ	1-22	1			1							
	教科内容研究(図画工作・美術科教育デザイン分野)Ⅰ	1-23	1			1							
	教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育デザイン分野)Ⅰ	1-24	1			1							
小計(14科目) ※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	14	0	6	4	0	0	0				
教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅰ	1①	1			2						兼1		
教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅱ	1②	1			2						兼1		
教科教育研究の実践と展開(保健体育科教育)Ⅰ	1③	1			2						兼1		
教科教育研究の実践と展開(保健体育科教育)Ⅱ	1④	1			2						兼1		
教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅰ	1①	1			4						兼1		
教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅱ	1②	1			4						兼1		
教科内容研究(保健体育科教育体育学分野)Ⅰ	1-23	1			1	1							
教科内容・教材開発(保健体育科教育体育学分野)Ⅰ	1-24	1			1	1							
教科内容研究(保健体育科教育運動学分野)Ⅰ	1-23	1			2								

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース	教科内容研究(音楽科教育器楽分野)Ⅱ (未開講)	1-23	1										
	教科内容・教材開発(音楽科教育器楽分野)Ⅰ	1-24	1		1								
	教科内容・教材開発(音楽科教育器楽分野)Ⅱ (未開講)	1-22	1			1							
	教科内容研究(音楽科教育音楽学分野)Ⅰ	1-23	1			2							
	教科内容・教材開発(音楽科教育音楽学分野)Ⅰ	1-24	1			2							
	小計(16科目) ※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	16	0	4	7	0	0	0			
	教科教育研究の理論(図画工作・美術科教育)Ⅰ	1①	1			3	1						
	教科教育研究の理論(図画工作・美術科教育)Ⅱ	1②	1			3	1						
	教科教育研究の実践と展開(図画工作・美術科教育)Ⅰ	1③	1			3	1						
	教科教育研究の実践と展開(図画工作・美術科教育)Ⅱ	1④	1			3	1						
	教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅰ	1①	1			5	4						
	教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅱ	1②	1			5	4						
	教科内容研究(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ	1-23	1			1	2						
	教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ	1-24	1			1	2						
	教科内容研究(図画工作・美術科教育彫刻分野)Ⅰ	1-23	1			1							
	教科内容研究(図画工作・美術科教育彫刻分野)Ⅱ (未開講)	1-23	1			1							
	教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育彫刻分野)Ⅰ	1-24	1			1							
	教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育彫刻分野)Ⅱ (未開講)	1-22	1			1							
	教科内容研究(図画工作・美術科教育デザイン分野)Ⅰ	1-23	1			1							
	教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育デザイン分野)Ⅰ	1-24	1			1							
小計(14科目) ※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	14	0	6	4	0	0	0				
教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅰ (未開講)	1①	1			1	1					兼1		
教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅱ (未開講)	1②	1			1	1					兼1		
教科教育研究の実践と展開(保健体育科教育)Ⅰ	1③	1			1	1					兼1		
教科教育研究の実践と展開(保健体育科教育)Ⅱ	1④	1			1	1					兼1		
教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅰ (未開講)	1①	1			2	2					兼1		
教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅱ (未開講)	1②	1			2	2					兼1		
教科内容研究(保健体育科教育体育学分野)Ⅰ	1-23	1			1	1							
教科内容・教材開発(保健体育科教育体育学分野)Ⅰ	1-24	1			1	1							
教科内容研究(保健体育科教育運動学分野)Ⅰ	1-23	1			1	1							

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース科目 専門科目	家庭科教育	教科内容・教材開発(家庭科教育被服学分野) I	1・24	1		1	1						
		教科内容研究(家庭科教育家政一般分野) I	1・23	1		1	1						
		教科内容・教材開発(家庭科教育家政一般分野) I	1・24	1		1	1						
		小計(14科目) ※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	14	0	6	3	1	0	0		
	英語科教育	教科教育研究の理論(英語科教育) I	1①		1		3	1					
		教科教育研究の理論(英語科教育) II	1②		1		3	1					
		教科教育研究の実践と展開(英語科教育) I	1③		1		3	1					
		教科教育研究の実践と展開(英語科教育) II	1④		1		3	1					
		教科内容の体系(英語科教育) I	1①		1		5	5					
		教科内容の体系(英語科教育) II	1②		1		2	7					
		教科内容研究(英語科教育英語学分野) I	1・23		1			5					
		教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野) I	1・24		1			5					
		教科内容研究(英語科教育英米文学分野) I	1・23		1		1						
		教科内容・教材開発(英語科教育英米文学分野) I	1・24		1		1						
		教科内容研究(英語科教育英語コミュニケーション分野) I	1・23		1		1	1					
		教科内容・教材開発(英語科教育英語コミュニケーション分野) I	1・24		1		1	1					
		小計(12科目) ※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	12	0	6	7	0	0	0		
		特別支援教育コース	障害のある子どもの理解と支援 I	1①		1		2	3				
			障害のある子どもの理解と支援 II	1③		1		2	2				
特別支援教育のシステムと実際	1・24			1		3	3						
障害のある子どもの理解と支援 III	1・22			1		1	3						
障害のある子どもの理解と支援 IV	1・24			1		1	2						
障害のある子どもの理解と支援 V	1・23			1			3						
現代社会と障害児・者	1・22			1		2	1						
発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援	1・23			1		6	8						
特別支援教育の現代的課題と教育実践	1・24			1		6	8						
特別支援教育の実践と理論	1・23			1		6	7						
特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメント I	1・23			1		1	3						
特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメント II	1・24			1		1	3						
インクルーシブ教育実地研究 I	1・23-24		2		2	3							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース科目 専門科目	家庭科教育	教科内容・教材開発(家庭科教育被服学分野) I	1・24	1		2	0						
		教科内容研究(家庭科教育家政一般分野) I	1・23	1		1	1						
		教科内容・教材開発(家庭科教育家政一般分野) I	1・24	1		1	1						
		小計(14科目) ※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	14	0	7	2	1	0	0		
	英語科教育	教科教育研究の理論(英語科教育) I	1①		1		3	1					
		教科教育研究の理論(英語科教育) II	1②		1		3	1					
		教科教育研究の実践と展開(英語科教育) I	1③		1		3	1					
		教科教育研究の実践と展開(英語科教育) II	1④		1		3	1					
		教科内容の体系(英語科教育) I	1①		1		5	4					
		教科内容の体系(英語科教育) II	1②		1		2	6					
		教科内容研究(英語科教育英語学分野) I	1・23		1			4					
		教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野) I	1・24		1			4					
		教科内容研究(英語科教育英米文学分野) I	1・23		1		1						
		教科内容・教材開発(英語科教育英米文学分野) I	1・24		1		1						
		教科内容研究(英語科教育英語コミュニケーション分野) I	1・23		1		1	1					
		教科内容・教材開発(英語科教育英語コミュニケーション分野) I	1・24		1		1	1					
		小計(12科目) ※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	12	0	6	6	0	0	0		
		特別支援教育コース	障害のある子どもの理解と支援 I	1①		1		3	2				
			障害のある子どもの理解と支援 II	1③		1		3	1				
特別支援教育のシステムと実際	1・24			1		3	3						
障害のある子どもの理解と支援 III	1・22			1		2	2						
障害のある子どもの理解と支援 IV	1・24			1		1	2						
障害のある子どもの理解と支援 V	1・23			1			1						
現代社会と障害児・者	1・22			1		3	0						
発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援	1・23			1		9	5						
特別支援教育の現代的課題と教育実践	1・24			1		9	5						
特別支援教育の実践と理論	1・23			1		8	5						
特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメント I	1・23			1		3	1						
特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメント II	1・24			1		2	2						
インクルーシブ教育実地研究 I	1・23-24		2		3	2							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
特別支援教育コース	インクルーシブ教育 実地研究Ⅱ	1・23-4		2		2	3						
	小計（14科目）※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	16	0	7	8	0	0	0			
	養護教育コース	子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育	1①		1			1					
		学校医療安全と子どもの安全への実践的対応	1③		1		1					兼1	
		学校における保健教育の意義と課題	1・22		1		1						
		カリキュラム・マネジメントを踏まえた保健教育の実践	1・23		1		1						
		保健組織活動とエンパワメント	1・23		1		1						
		学校における医学的課題と探査的研究	1・23		1		1					兼1	
		養護教諭の実践と研究的視点	1・23		1		1						
		学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント	1・24		1		1					兼1	
		養護教諭の教育活動とキャリア形成	1・24		1		1						
		保健室経営の位置づけ及び理論と実践	1・22		1		1						
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題	1・22		1		1							
	小計（11科目）※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	11	0	3	2	0	0	0	兼1		
	複数コース対応	保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり	1・23		1			1					
いじめに関する理論と指導の実践		1・23		1			1						
学校教育の現代的課題とその対応		1・22		1			1						
校務の情報化推進の理論と実践		1・24		1							兼1		
校種間接続カリキュラム構築の理論と実践		1・23		1		1							
幼保小の連携と生活科教育		1・24		1		1							
学校における外国語教育の推進		1・24		1		3							
教育相談のケース・スタディ		1・23		1		1	1						
生徒指導のケース・スタディ		1・22		1			1				兼1		
教育調査のための統計Ⅰ		1・23		1		2	4						
教育調査のための統計Ⅱ	1・22		1		1								
小計（11科目）	—	0	11	0	7	7	1	0	0	兼2			
プロジェクト科目	特別支援教育コース以外												
	教育実践研究プロジェクトⅠ	13-2		2		92	82	17					
	教育実践研究プロジェクトⅡ	13-4		2		92	82	17					
	教育実践研究プロジェクトⅢ	13-2		2		92	82	17					
小計（3科目）	—	0	6	0	92	82	17	0	0				

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特別支援教育コース	インクルーシブ教育 実地研究Ⅱ	1・23-4		2		3	2					
	小計（14科目）※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	16	0	10	5	0	0	0		
	養護教育コース	子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育	1①		1			0				兼1
		学校医療安全と子どもの安全への実践的対応	1③		1		1					兼1
		学校における保健教育の意義と課題	1・22		1		1					
		カリキュラム・マネジメントを踏まえた保健教育の実践	1・23		1		1					
		保健組織活動とエンパワメント	1・23		1			0				兼1
		学校における医学的課題と探査的研究	1・23		1		1					兼1
		養護教諭の実践と研究的視点	1・23		1		1					
		学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント	1・24		1		1					兼1
		養護教諭の教育活動とキャリア形成	1・24		1			1				
		保健室経営の位置づけ及び理論と実践	1・22		1			1				
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題	1・22		1			1					
	小計（11科目）※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	11	0	3	1	0	0	0	兼2	
	複数コース対応	保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり	1・23		1			1				
いじめに関する理論と指導の実践		1・23		1			0				兼1	
学校教育の現代的課題とその対応		1・22		1			0				兼1	
校務の情報化推進の理論と実践		1・24		1			1				0	
校種間接続カリキュラム構築の理論と実践		1・23		1		1						
幼保小の連携と生活科教育		1・24		1		1						
学校における外国語教育の推進		1・24		1		3						
教育相談のケース・スタディ		1・23		1		1	1					
生徒指導のケース・スタディ		1・22		1			1				兼1	
教育調査のための統計Ⅰ		1・23		1		3	3					
教育調査のための統計Ⅱ	1・22		1		1							
小計（11科目）	—	0	11	0	9	5	1	0	0	兼2		
プロジェクト科目	特別支援教育コース以外											
	教育実践研究プロジェクトⅠ	13-2		2		102	74	15				
	教育実践研究プロジェクトⅡ	13-4		2		102	74	15				
	教育実践研究プロジェクトⅢ	13-2		2		102	74	15				
小計（3科目）	—	0	6	0	102	74	15	0	0	0		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目	プロジェクト科目 特別支援教育コース	教育実践研究プロジェクト（特別支援教育）Ⅰ	13→2	2		7	8					
		教育実践研究プロジェクト（特別支援教育）Ⅱ	13→4	2		7	8					
		教育実践研究プロジェクト（特別支援教育）Ⅲ	20→2	2		7	8					
		小計（3科目）	—	0	6	0	7	8	0	0	0	
科目 演習	全コース	実践論文	1→2→4	2		99	90	17				
		小計（1科目）	—	2	0	0	99	90	17	0	0	
実習科目	特別支援教育コース以外	教育実践研究実習Ⅰ	1通	5		92	82	17				
		教育実践研究実習Ⅱ	1・2通	5		92	82	17				
		小計（2科目）	—	0	10	0	92	82	17	0	0	
	特別支援教育コース	教育実践研究実習（特別支援教育）Ⅰ	1通	5		7	8					
		教育実践研究実習（特別支援教育）Ⅱ	2通	5		7	8					
		小計（2科目）※教育実践研究実習Ⅰ、Ⅱも選択可	—	0	10	0	7	8	0	0	0	
合計（280科目）		—	16	289	0	99	90	17	0	0	兼4	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目	プロジェクト科目 特別支援教育コース	教育実践研究プロジェクト（特別支援教育）Ⅰ	13→2	2		10	5					
		教育実践研究プロジェクト（特別支援教育）Ⅱ	13→4	2		10	5					
		教育実践研究プロジェクト（特別支援教育）Ⅲ	20→2	2		10	5					
		小計（3科目）	—	0	6	0	10	5	0	0	0	0
科目 演習	全コース	実践論文	1→2→4	2		112	79	15				
		小計（1科目）	—	2	0	0	112	79	15	0	0	0
実習科目	特別支援教育コース以外	教育実践研究実習Ⅰ	1通	5		102	74	15				
		教育実践研究実習Ⅱ	1・2通	5		102	74	15				
		小計（2科目）	—	0	10	0	102	74	15	0	0	0
	特別支援教育コース	教育実践研究実習（特別支援教育）Ⅰ	1通	5		10	5					
		教育実践研究実習（特別支援教育）Ⅱ	2通	5		10	5					
		小計（2科目）※教育実践研究実習Ⅰ、Ⅱも選択可	—	0	10	0	10	5	0	0	0	0
合計（280科目）		—	16	289	0	112	79	15	0	0	兼6	

【認可時又は届出時】

卒業要件及び履修方法
<p>科目区分欄のA～Eは以下のとおり共通に開設すべき授業科目の領域を示す。</p> <p>A: 教育課程の編成・実施に関する領域 B: 教科等の実践的な指導方法に関する領域 C: 生徒指導、教育相談に関する領域 D: 学級経営、学校経営に関する領域 E: 学校教育と教員の在り方に関する領域</p> <p>配当年次欄の開講時期は以下のとおり示す。 ①: 第1クォーター開講科目、②: 第2クォーター開講科目、③: 第3クォーター開講科目、④: 第4クォーター開講科目 ①～②: 第1クォーターから第2クォーターを通して開講する科目、③～④: 第3クォーターから第4クォーターを通して開講する科目、通・通年科目</p> <p>以下のとおり46単位を修得する。</p> <p>○全コース共通 ・共通科目 18単位〔共通必修科目 12単位(必修)、コース必修科目 4単位(必修)、大学指定科目 2単位(必修)〕 ・北海道教育大学の特色ある領域科目 2単位(選択必修)</p> <p>○学校組織マネジメントコース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「学校組織マネジメントの実践的展開」「学校経営戦略の分析と策定」の2科目2単位を修得。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「校務の情報化推進の理論と実践」「校種間接続力リキウム構築の理論と実践」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>○教職キャリア形成・研修デザインコース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「教師の実践研究ネットワークの形成」「学級・授業づくりを通じた教師支援」の2科目2単位を修得。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「校務の情報化推進の理論と実践」「校種間接続力リキウム構築の理論と実践」「学校における外国語教育の推進」「教育相談のケース・スタディ」「生徒指導のケース・スタディ」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>○子ども理解・学級経営コース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(選択必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「子どもと社会」「キャリア教育の実際と課題」「授業における子どもの行動と心理」「子ども理解のためのアセスメント」から2科目2単位を選択。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの上記科目を除く専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「幼保小の連携と生活科教育」「学校における外国語教育の推進」「教育相談のケース・スタディ」「生徒指導のケース・スタディ」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>○教科指導・授業開発コース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(選択必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「教科教育研究の理論(〇〇科教育)Ⅰ」「教科教育研究の理論(〇〇科教育)Ⅱ」「教科教育研究の実践と展開(〇〇科教育)Ⅰ」「教科教育研究の実践と展開(〇〇科教育)Ⅱ」から2科目2単位を選択。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの上記科目を除く所属教科の専門科目の他、本コースの所属外教科の専門科目、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「幼保小の連携と生活科教育」「学校における外国語教育の推進」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>○特別支援教育コース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「障害のある子どもの理解と支援Ⅰ」「障害のある子どもの理解と支援Ⅱ」の2科目2単位を修得。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ・実習科目 10単位(選択必修) ※選択必修10単位は、「教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ」「教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ」の2科目10単位又は「教育実践研究実習Ⅰ」「教育実践研究実習Ⅱ」の2科目10単位を選択。</p> <p>○養護教育コース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育」「学校医療安全と子どもの安全への実践的対応」の2科目2単位を修得。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>〔履修科目の登録の上限〕 年間38単位(短期履修学生制度を適用する場合は年間50単位)</p>

【令和4年度】

卒業要件及び履修方法
<p>科目区分欄のA～Eは以下のとおり共通に開設すべき授業科目の領域を示す。</p> <p>A: 教育課程の編成・実施に関する領域 B: 教科等の実践的な指導方法に関する領域 C: 生徒指導、教育相談に関する領域 D: 学級経営、学校経営に関する領域 E: 学校教育と教員の在り方に関する領域</p> <p>配当年次欄の開講時期は以下のとおり示す。 ①: 第1クォーター開講科目、②: 第2クォーター開講科目、③: 第3クォーター開講科目、④: 第4クォーター開講科目 ①～②: 第1クォーターから第2クォーターを通して開講する科目、③～④: 第3クォーターから第4クォーターを通して開講する科目、通・通年科目</p> <p>以下のとおり46単位を修得する。</p> <p>○全コース共通 ・共通科目 18単位〔共通必修科目 12単位(必修)、コース必修科目 4単位(必修)、大学指定科目 2単位(必修)〕 ・北海道教育大学の特色ある領域科目 2単位(選択必修)</p> <p>○学校組織マネジメントコース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「学校組織マネジメントの実践的展開」「学校経営戦略の分析と策定」の2科目2単位を修得。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「校務の情報化推進の理論と実践」「校種間接続力リキウム構築の理論と実践」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>○教職キャリア形成・研修デザインコース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「教師の実践研究ネットワークの形成」「学級・授業づくりを通じた教師支援」の2科目2単位を修得。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「校務の情報化推進の理論と実践」「校種間接続力リキウム構築の理論と実践」「学校における外国語教育の推進」「教育相談のケース・スタディ」「生徒指導のケース・スタディ」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>○子ども理解・学級経営コース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(選択必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「子どもと社会」「キャリア教育の実際と課題」「授業における子どもの行動と心理」「子ども理解のためのアセスメント」から2科目2単位を選択。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの上記科目を除く専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「幼保小の連携と生活科教育」「学校における外国語教育の推進」「教育相談のケース・スタディ」「生徒指導のケース・スタディ」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>○教科指導・授業開発コース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(選択必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「教科教育研究の理論(〇〇科教育)Ⅰ」「教科教育研究の理論(〇〇科教育)Ⅱ」「教科教育研究の実践と展開(〇〇科教育)Ⅰ」「教科教育研究の実践と展開(〇〇科教育)Ⅱ」から2科目2単位を選択。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの上記科目を除く所属教科の専門科目の他、本コースの所属外教科の専門科目、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「幼保小の連携と生活科教育」「学校における外国語教育の推進」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>○特別支援教育コース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「障害のある子どもの理解と支援Ⅰ」「障害のある子どもの理解と支援Ⅱ」の2科目2単位を修得。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ・実習科目 10単位(選択必修) ※選択必修10単位は、「教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ」「教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ」の2科目10単位又は「教育実践研究実習Ⅰ」「教育実践研究実習Ⅱ」の2科目10単位を選択。</p> <p>○養護教育コース ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕 ※専門科目の必修 2単位は、「子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育」「学校医療安全と子どもの安全への実践的対応」の2科目2単位を修得。 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。 ※複数コース対応科目は、「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。 ・実習科目 10単位(必修)</p> <p>〔履修科目の登録の上限〕 年間38単位(短期履修学生制度を適用する場合は年間50単位)</p>

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通必修科目	A 今日的学力・能力観とカリキュラム・マネジメント	1①	1			1	0					
	A インクルーシブ教育の理念と教育課程	1④	1			1						
	B ICTを活用した教育の実践と課題	1③	1			1						
	B アクティブ・ラーニングの理論と実践	1②	1			1						
	B 特別支援教育の視点からの学習指導	1②	1				1					
	C 子どもの発達と学習	1①	1				1					
	C 教育相談の理論と実際	1④	1			1						
	C 生徒指導の実際と今日的課題	1③	1				1					
	D 学級・学年経営の理論と実践	1①	1				1					
	D 学校危機管理の実際と課題	1③	1									兼1
	E 教師のメンタルヘルスとエンバワメント	1②	1			1						
	E 学校における組織的な人材育成と授業改善	1④	1			1						
小計（12科目）	-	12	0	0	6	3	0	0	0	0	兼1	
共通科目	D 学校組織マネジメントの理論	1②		1			1					
	D 管理職に求められるリーダーシップ	1①		1		1						
	E 学校運営と教育法規	1④		1		1						
	E 教員の働き方と校務の効率化	1③		1		1						
	小計（4科目）	-	0	4	0	3	1	0	0	0		
コース必修科目	E 教師としてのキャリア・デザイン	1①		1			1					
	D 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題	1③		1		1						
	A 授業研究の理論と実践	1②		1		1	0					
	D カリキュラム・マネジメントのためのデータの分析と活用	1④		1			1					
	小計（4科目）	-	0	4	0	2	1	0	0	0		
子ども理解・学級経営コース	C 子どもと教師の関係づくり	1①		1			1					
	C 子どもの問題行動の実際と実践的対応	1②		1		1						
	D 学級経営の実際と課題 I	1③		1		1						
	D 学級経営の実際と課題 II	1④		1			1					
	小計（4科目）	-	0	4	0	2	2	0	0	0		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	教科指導・授業開発コース	A 授業デザインの基礎	1①	1			1						
		B 教科等横断的な視点に立った授業開発	1②	1			1						
		B 学習評価の理論と実際	1③	1			1						
		B 総合的な学習の時間の実践と課題	1④	1			1						
		小計（4科目）	—	0	4	0	2	1	0	0	0		
	特別支援教育コース	A 特別支援教育の教育課程と授業の在り方	1①	1			1						
		C 特別支援教育における教育相談と保護者支援	1②	1				1					
		C 特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅰ	1③	1			1						
		D 特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅱ	1④	1			1						
		小計（4科目）	—	0	4	0	1	1	0	0	0		
	養護教育コース	D 保健組織活動におけるマネジメント（未開講）	1④	1				0					
		C 養護活動と保健教育（未開講）	1②	1				1					
		C 養護実践の理論と方法（未開講）	1①	1				1					
		E 子どもの心身の健康における協働的援助（未開講）	1③	1			2						
		小計（4科目）	—	0	4	0	2	1	0	0	0		
	定大科学目標	全コース	教育実践研究へのアプローチ	1①	1			1					
			北海道の教育課題解決へのアプローチ	1②	1			1					
		小計（2科目）	—	2	0	0	1	1	0	0	0		
	特色ある教育領域大科学目標	全コース	地域性を生かした総合的な学習	1・2④	1			2					
			道徳教育の理論と実践	1・2②	1			1					
プログラミング教育の実践と課題			1・2②	1			1						
へき地・小規模校の実際と課題			1・2①	1			2	1					
教育情報資源と学びの環境・指導			1・2③	1				1					
個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅰ			1・2③	1				1					
個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅱ			1・2④	1				1					
小計（7科目）		—	0	7	0	4	4	0	0	0			
コース科目	専門科目 学校組織マネジメントコース	学校組織マネジメントの実践的展開	1②	1			1						
		学校経営戦略の分析と策定	1①	1			1						
		社会に開かれた学校	1・2④	1				1					
		教育行政マネジメントの理論と実際	1・2③	1			1						

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース科目 専門科目	学校組織マネジメントコース	学校事務の職務と連携方策	1・22	1		1						0		
		小計（5科目）※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	5	0	3	1	0	0	0	0		
	教職キャリア形成・研修デザインコース	教師の実践研究ネットワークの形成	1③	1			1	0						
		学級・授業づくりを通じた教師支援	1②	1			1							
		学校と教員の文化	1・2①	1				1						
		校内研修デザイン理論と実践Ⅰ	1・2①	1			1							
		校内研修デザイン理論と実践Ⅱ	1・2④	1			1							
		小計（5科目）※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	5	0	4	1	0	0	0	0		
	子ども理解・学級経営コース	子どもと社会	1①	1			5	4						
		キャリア教育の実際と課題	1③	1				1	2					
		授業における子どもの行動と心理	1②	1			2	4						
		子ども理解のためのアセスメント	1④	1			2	4						
		学級経営と授業づくり	1・2①	1			1	3						
		道徳を基盤とした学級経営	1・2③	1			3	0						
		現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり	1・2②	1			1	3						
		教育課程編成と学級経営	1・2④	1				3						
	小計（8科目）※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	8	0	9	16	2	0	0				
	教科指導・授業開発コース	国語科教育	教科教育研究の理論（国語科教育）Ⅰ	1①	1			3	1					
			教科教育研究の理論（国語科教育）Ⅱ	1②	1			2	2					
			教科教育研究の実践と展開（国語科教育）Ⅰ	1③	1			2	2					
			教科教育研究の実践と展開（国語科教育）Ⅱ	1④	1			1	3					
			教科内容の体系（国語科教育）Ⅰ	1①	1			5	6	2				
			教科内容の体系（国語科教育）Ⅱ	1②	1			4	7	2				
			教科内容研究（国語科教育国語学分野）Ⅰ（未開講）	1・2③	1			1						
			教科内容研究（国語科教育国語学分野）Ⅱ（未開講）	1・2①	1				0					
			教科内容研究（国語科教育国語学分野）Ⅲ	1・2③	1					1				
			教科内容・教材開発（国語科教育国語学分野）Ⅰ	1・2④	1			1						
教科内容・教材開発（国語科教育国語学分野）Ⅱ（未開講）			1・2②	1				0						
教科内容・教材開発（国語科教育国語学分野）Ⅲ			1・2④	1					1					
教科内容研究（国語科教育国文学分野）Ⅰ（未開講）	1・2③	1				1								

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース	国語科教育	教科内容・教材開発(国語科教育国文学分野) I (未開講)	1・24	1			1					
		教科内容研究(国語科教育漢文学分野) I (未開講)	1・23	1		1						
		教科内容研究(国語科教育漢文学分野) II	1・21	1				1				
		教科内容・教材開発(国語科教育漢文学分野) I (未開講)	1・24	1		1						
		教科内容・教材開発(国語科教育漢文学分野) II	1・22	1				1				
		教科内容研究(国語科教育書道分野) I	1・23	1			1					
		教科内容・教材開発(国語科教育書道分野) I	1・24	1			1					
		小計(20科目) ※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	20	0	5	7	2	0	0	
	社会科教育	教科教育研究の理論(社会科教育) I	1①	1			2	1	1			
		教科教育研究の理論(社会科教育) II	1②	1			1	2	1			
		教科教育研究の実践と展開(社会科教育) I	1③	1			2	1	1			
		教科教育研究の実践と展開(社会科教育) II	1④	1			1	2	1			
		教科内容の体系(社会科教育) I	1①	1			15	5	2			
		教科内容の体系(社会科教育) II	1②	1			15	5	2			
		教科内容研究(社会科教育歴史学分野) I	1・23	1			2	1				
		教科内容研究(社会科教育歴史学分野) II	1・21	1			1					
		教科内容研究(社会科教育歴史学分野) III (未開講)	1・23	1			1					
		教科内容・教材開発(社会科教育歴史学分野) I	1・24	1			2	1				
		教科内容・教材開発(社会科教育歴史学分野) II	1・22	1			1					
		教科内容・教材開発(社会科教育歴史学分野) III	1・24	1			1					
教科内容研究(社会科教育地理学分野) I	1・23	1			1	0						
教科内容研究(社会科教育地理学分野) II (未開講)	1・21	1			1							
教科内容・教材開発(社会科教育地理学分野) I	1・24	1			1	0						
教科内容・教材開発(社会科教育地理学分野) II	1・22	1			1							
教科内容研究(社会科教育法律学分野) I (未開講)	1・23	1			3							
教科内容・教材開発(社会科教育法律学分野) I (未開講)	1・24	1			3							
教科内容研究(社会科教育社会学・経済学分野) I (未開講)	1・23	1			1	1						
教科内容研究(社会科教育社会学・経済学分野) II	1・21	1			1							
教科内容・教材開発(社会科教育社会学・経済学分野) I (未開講)	1・24	1			1	1						
教科内容・教材開発(社会科教育社会学・経済学分野) II	1・22	1			1							

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース	社会科教育	教科内容研究（社会科教育哲学・倫理学分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1		1						
		教科内容研究（社会科教育哲学・倫理学分野）Ⅱ	1・23	1		2		1				
		教科内容・教材開発（社会科教育哲学・倫理学分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1		1						
		教科内容・教材開発（社会科教育哲学・倫理学分野）Ⅱ	1・22	1		2		1				
		小計（26科目）※この他、複数→対応科目から選択	—	0	26	0	15	6	2	0	0	
	算数・数学科教育	教科教育研究の理論（算数・数学科教育）Ⅰ	1①	1		2	2	2				
		教科教育研究の理論（算数・数学科教育）Ⅱ	1②	1		2	2	2				
		教科教育研究の実践と展開（算数・数学科教育）Ⅰ	1③	1		2	2	1				
		教科教育研究の実践と展開（算数・数学科教育）Ⅱ	1④	1		1	2	2				
		教科内容の体系（算数・数学科教育）Ⅰ	1①	1		6	2	2				
		教科内容の体系（算数・数学科教育）Ⅱ	1②	1		5	2	3				
		教科内容研究（算数・数学科教育代数分野）Ⅰ	1・23	1		1		1				
		教科内容・教材開発（算数・数学科教育代数分野）Ⅰ	1・24	1		1		1				
		教科内容研究（算数・数学科教育幾何学分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1			1					
		教科内容・教材開発（算数・数学科教育幾何学分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1			1					
		教科内容研究（算数・数学科教育解析学分野）Ⅰ	1・23	1		2						
		教科内容研究（算数・数学科教育解析学分野）Ⅱ（未開講）	1・21	1		1		1				
		教科内容・教材開発（算数・数学科教育解析学分野）Ⅰ	1・24	1		2						
		教科内容・教材開発（算数・数学科教育解析学分野）Ⅱ（未開講）	1・22	1		1		1				
	小計（14科目）※この他、複数→対応科目から選択	—	0	14	0	6	3	4	0	0		
	理科教育	教科教育研究の理論（理科教育）Ⅰ	1①	1		3	1	2				
		教科教育研究の理論（理科教育）Ⅱ	1②	1		2	2	2				
		教科教育研究の実践と展開（理科教育）Ⅰ	1③	1		3	1	2				
		教科教育研究の実践と展開（理科教育）Ⅱ	1④	1		2	2	2				
		教科内容の体系（理科教育）Ⅰ	1①	1		10	3	2				
		教科内容の体系（理科教育）Ⅱ	1②	1		10	3	2				
		教科内容研究（理科教育物理学分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1		1						
		教科内容研究（理科教育物理学分野）Ⅱ（未開講）	1・21	1		1						
		教科内容研究（理科教育物理学分野）Ⅲ（未開講）	1・23	1		1		1				
		教科内容・教材開発（理科教育物理学分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1		1						

【令和3年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
コース科目 専門科目 教科指導・授業 開発コース	教科内容・教材開発 (理科教育物理学分 野)Ⅱ (未開講)	1・22	1			1								
	教科内容・教材開発 (理科教育物理学分 野)Ⅲ (未開講)	1・24	1			1		1						
	教科内容研究(理科 教育化学分野)Ⅰ	1・23	1			1	1							
	教科内容研究(理科 教育化学分野)Ⅱ	1・21	1			1								
	教科内容研究(理科 教育化学分野)Ⅲ (未開講)	1・23	1				1							
	教科内容・教材開発 (理科教育化学分 野)Ⅰ	1・24	1			1	1							
	教科内容・教材開発 (理科教育化学分 野)Ⅱ	1・22	1			1								
	教科内容・教材開発 (理科教育化学分 野)Ⅲ (未開講)	1・24	1			0	1							
	教科内容研究(理科 教育生物学分野)Ⅰ (未開講)	1・23	1			2								
	教科内容研究(理科 教育生物学分野)Ⅱ	1・21	1			1	1							
	教科内容研究(理科 教育生物学分野)Ⅲ (未開講)	1・23	1			1	0							
	教科内容・教材開発 (理科教育生物学分 野)Ⅰ (未開講)	1・24	1			2								
	教科内容・教材開発 (理科教育生物学分 野)Ⅱ	1・22	1			1	1							
	教科内容・教材開発 (理科教育生物学分 野)Ⅲ (未開講)	1・24	1			1	0							
	教科内容研究(理科 教育地学分野)Ⅰ	1・23	1			2	1							
	教科内容研究(理科 教育地学分野)Ⅲ (未開講)	1・23	1			1								
	教科内容・教材開発 (理科教育地学分 野)Ⅰ	1・24	1			2	1							
	教科内容・教材開発 (理科教育地学分 野)Ⅲ (未開講)	1・24	1			1								
	小計(28科目)※この 他、複数コース対応科目から選択		—	0	28	0	14	6	3	0	0			
	音楽科教育	教科教育研究の理論 (音楽科教育)Ⅰ (未開講)	1①	1			1	5	0					
		教科教育研究の理論 (音楽科教育)Ⅱ (未開講)	1②	1			1	5	0					
		教科教育研究の実践 と展開(音楽科教 育)Ⅰ (未開講)	1③	1			1	5	0					
		教科教育研究の実践 と展開(音楽科教 育)Ⅱ (未開講)	1④	1			1	5	0					
		教科内容の体系(音 楽科教育)Ⅰ (未開 講)	1①	1			2	2	0					
		教科内容の体系(音 楽科教育)Ⅱ (未開 講)	1②	1			2	2	0					
		教科内容研究(音楽 科教育声楽分野)Ⅰ (未開講)	1・23	1			1							
		教科内容研究(音楽 科教育声楽分野)Ⅱ (未開講)	1・21	1			1							
		教科内容・教材開発 (音楽科教育声楽分 野)Ⅰ (未開講)	1・24	1			1							
教科内容・教材開発 (音楽科教育声楽分 野)Ⅱ (未開講)		1・22	1			1								
教科内容研究(音楽 科教育器楽分野)Ⅰ (未開講)	1・23	1			1									

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース	教科内容研究（音楽科教育音楽分野）Ⅱ（未開講）	1・21	1			1						
	教科内容・教材開発（音楽科教育音楽分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1		1							
	教科内容・教材開発（音楽科教育音楽分野）Ⅱ（未開講）	1・22	1			1						
	教科内容研究（音楽科教育音楽学分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1			2						
	教科内容・教材開発（音楽科教育音楽学分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1			2						
	小計（10科目）※この他、複数→対応科目から選択	—	0	16	0	4	7	0	0	0		
	教科教育研究の理論（図画工作・美術科教育）Ⅰ（未開講）	1①	1			3	1					
	教科教育研究の理論（図画工作・美術科教育）Ⅱ（未開講）	1②	1			3	1					
	教科教育研究の実践と展開（図画工作・美術科教育）Ⅰ（未開講）	1③	1			3	1					
	教科教育研究の実践と展開（図画工作・美術科教育）Ⅱ（未開講）	1④	1			3	1					
	教科内容の体系（図画工作・美術科教育）Ⅰ（未開講）	1①	1			5	4					
	教科内容の体系（図画工作・美術科教育）Ⅱ（未開講）	1②	1			5	4					
	教科内容研究（図画工作・美術科教育絵画分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1			1	2					
	教科内容・教材開発（図画工作・美術科教育絵画分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1			1	2					
	教科内容研究（図画工作・美術科教育彫刻分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1			1						
	教科内容研究（図画工作・美術科教育彫刻分野）Ⅱ（未開講）	1・21	1			1						
	教科内容・教材開発（図画工作・美術科教育彫刻分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1			1						
	教科内容・教材開発（図画工作・美術科教育彫刻分野）Ⅱ（未開講）	1・22	1			1						
	教科内容研究（図画工作・美術科教育デザイン分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1			1						
	教科内容・教材開発（図画工作・美術科教育デザイン分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1			1						
	小計（14科目）※この他、複数→対応科目から選択	—	0	14	0	6	4	0	0	0		
	教科教育研究の理論（保健体育科教育）Ⅰ	1①	1			1	1					兼1
	教科教育研究の理論（保健体育科教育）Ⅱ	1②	1			1	1					兼1
	教科教育研究の実践と展開（保健体育科教育）Ⅰ	1③	1			1	1					兼1
	教科教育研究の実践と展開（保健体育科教育）Ⅱ	1④	1			1	1					兼1
	教科内容の体系（保健体育科教育）Ⅰ	1①	1			2	2					兼1
	教科内容の体系（保健体育科教育）Ⅱ	1②	1			2	2					兼1
	教科内容研究（保健体育科教育体育学分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1			1	1					
	教科内容・教材開発（保健体育科教育体育学分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1			1	1					
	教科内容研究（保健体育科教育運動学分野）Ⅰ	1・23	1			1	1					

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手				
コース科目 専門科目 教科指導・授業開発コース	保健体育科教育	1・24	1			1	1							
	小計(10科目) ※この他、複数→対応科目から選択	—	0	10	0	3	3	0	0	0	0	0	兼1	
	教科教育研究の理論(技術科教育) I	1①	1			2	3	0						
	教科教育研究の理論(技術科教育) II	1②	1			2	3	0						
	教科教育研究の実践と展開(技術科教育) I	1③	1			2	3	0						
	教科教育研究の実践と展開(技術科教育) II	1④	1			2	3	0						
	教科内容の体系(技術科教育) I	1①	1			2	5	0						
	教科内容の体系(技術科教育) II	1②	1			2	5	0						
	教科内容研究(技術科教育木材加工分野) I (未開講)	1・23	1				1							
	教科内容・教材開発(技術科教育木材加工分野) I (未開講)	1・24	1				1							
	教科内容研究(技術科教育機械分野) I	1・23	1			1								
	教科内容・教材開発(技術科教育機械分野) I	1・24	1			1								
	教科内容研究(技術科教育電気分野) I (未開講)	1・23	1				1							
	教科内容・教材開発(技術科教育電気分野) I (未開講)	1・24	1				1							
	教科内容研究(技術科教育栽培分野) I (未開講)	1・23	1				1							
	教科内容・教材開発(技術科教育栽培分野) I (未開講)	1・24	1				1							
	教科内容研究(技術科教育情報分野) I (未開講)	1・23	1				1							
	教科内容・教材開発(技術科教育情報分野) I (未開講)	1・24	1				1							
	小計(16科目) ※この他、複数→対応科目から選択	—	0	16	0	3	6	0	0	0	0	0		
	家庭科教育	教科教育研究の理論(家庭科教育) I (未開講)	1①	1			3	1						
		教科教育研究の理論(家庭科教育) II	1②	1			3	1						
		教科教育研究の実践と展開(家庭科教育) I	1③	1			3	1						
		教科教育研究の実践と展開(家庭科教育) II (未開講)	1④	1			3	1						
		教科内容の体系(家庭科教育) I (未開講)	1①	1			6	2						
		教科内容の体系(家庭科教育) II (未開講)	1②	1			6	2						
		教科内容研究(家庭科教育食物学分野) I (未開講)	1・23	1			1							
		教科内容研究(家庭科教育食物学分野) II (未開講)	1・23	1					1					
		教科内容・教材開発(家庭科教育食物学分野) I (未開講)	1・24	1			1							
		教科内容・教材開発(家庭科教育食物学分野) II (未開講)	1・22	1					1					
		教科内容研究(家庭科教育被服学分野) I	1・23	1			2	0						

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース科目 専門科目	家庭科教育	教科内容・教材開発（家庭科教育被服学分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1		2	0						
		教科内容研究（家庭科教育家政一般分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1		1	1						
		教科内容・教材開発（家庭科教育家政一般分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1		1	1						
		小計（14科目）※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	14	0	7	2	1	0	0		
	教科指導・授業開発コース 英語科教育	教科教育研究の理論（英語科教育）Ⅰ	1①	1		3	1						
		教科教育研究の理論（英語科教育）Ⅱ	1②	1		3	1						
		教科教育研究の実践と展開（英語科教育）Ⅰ	1③	1		3	1						
		教科教育研究の実践と展開（英語科教育）Ⅱ	1④	1		3	1						
		教科内容の体系（英語科教育）Ⅰ	1①	1		5	4						
		教科内容の体系（英語科教育）Ⅱ	1②	1		2	6						
		教科内容研究（英語科教育英語学分野）Ⅰ	1・23	1			4						
		教科内容・教材開発（英語科教育英語学分野）Ⅰ	1・24	1			4						
		教科内容研究（英語科教育英米文学分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1		1							
		教科内容・教材開発（英語科教育英米文学分野）Ⅰ（未開講）	1・24	1		1							
		教科内容研究（英語科教育英語コミュニケーション分野）Ⅰ（未開講）	1・23	1		1	1						
		教科内容・教材開発（英語科教育英語コミュニケーション分野）Ⅰ	1・24	1		1	1						
		小計（12科目）※この他、複数コース対応科目から選択	—	0	12	0	6	6	0	0	0		
		特別支援教育コース	障害のある子どもの理解と支援Ⅰ	1①	1		2	2					
			障害のある子どもの理解と支援Ⅱ	1③	1		3	1					
			特別支援教育のシステムと実際	1・24	1		3	3					
障害のある子どもの理解と支援Ⅲ	1・22		1		2	2							
障害のある子どもの理解と支援Ⅳ	1・24		1		1	2							
障害のある子どもの理解と支援Ⅴ	1・21		1		2	1							
現代社会と障害児・者	1・22		1		3	0							
発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援	1・23		1		9	5							
特別支援教育の現代的課題と教育実践	1・24		1		9	5							
特別支援教育の実践と理論	1・23		1		8	5							
特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ	1・23		1		3	1							
特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅡ	1・24		1		2	2							
インクルーシブ教育実地研究Ⅰ	1・21-4	2		3	2								

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目	特別支援教育コース	インクルーシブ教育 実地研究Ⅱ	11-23-4	2		3	2					
		小計（14科目）※この 他、複数→対応科目から選択	—	0	16	0	10	5	0	0	0	
	養護教育コース	子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育（未開講）	11①	1			0					兼1
		学校医療安全と子どもの安全への実践的対応（未開講）	11③	1		1						兼1
		学校における保健教育の意義と課題（未開講）	1・22	1		1						
		カリキュラム・マネジメントを踏まえた保健教育の実践（未開講）	1・23	1		1						
		保健組織活動とエンパワメント（未開講）	1・23	1			0					
		学校における医学的課題と探査的研究（未開講）	1・23	1		1						兼1
		養護教諭の実践と研究的視点（未開講）	1・23	1		1						
		学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント（未開講）	1・24	1		1						兼1
		養護教諭の教育活動とキャリア形成（未開講）	1・24	1			1					
		保健室経営の位置づけ及び理論と実践（未開講）	1・22	1			1					
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題（未開講）	1・22	1			1						
	小計（11科目）※この 他、複数→対応科目から選択	—	0	11	0	3	1	0	0	0	兼1	
	複数コース対応	保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり	1・23	1			1					
いじめに関する理論と指導の実際		1・23	1			1						
学校教育の現代的課題と対応		1・22	1			1						
校務の情報化推進の理論と実践		1・24	1			1				0		
校種間接続カリキュラム構築の理論と実践		1・23	1			1						
幼保小の連携と生活科教育		1・24	1			1						
学校における外国語教育の推進		1・24	1			3						
教育相談のケース・スタディ		1・23	1			1	1					
生徒指導のケース・スタディ		1・22	1				1				兼1	
教育調査のための統計Ⅰ		1・23	1			3	3					
教育調査のための統計Ⅱ	1・22	1			1							
小計（11科目）	—	0	11	0	9	6	1	0	0	兼1		
プロジェクト科目	特別支援教育コース以外	教育実践研究プロジェクトⅠ	10-2	2		102	74	15				
		教育実践研究プロジェクトⅡ	10-4	2		102	74	15				
		教育実践研究プロジェクトⅢ	11-23-4	2		102	74	15				
		小計（3科目）	—	0	6	0	102	74	15	0	0	0

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目	プロジェクト科目 特別支援教育コース	教育実践研究プロジェクト（特別支援教育）Ⅰ	10-12	2			10	5				
		教育実践研究プロジェクト（特別支援教育）Ⅱ	13-14	2			10	5				
		教育実践研究プロジェクト（特別支援教育）Ⅲ	23-24	2			10	5				
		小計（3科目）	—	0	6	0	10	5	0	0	0	0
科目演習	全コース	実践論文	1-23-24	2			112	79	15			
		小計（1科目）	—	2	0	0	112	79	15	0	0	0
実習科目	特別支援教育コース以外	教育実践研究実習Ⅰ	1通		5		102	74	15			
		教育実践研究実習Ⅱ	1・2通		5		102	74	15			
		小計（2科目）	—	0	10	0	102	74	15	0	0	0
	特別支援教育コース	教育実践研究実習（特別支援教育）Ⅰ <small>（未開講）</small>	1通		5		10	5				
		教育実践研究実習（特別支援教育）Ⅱ	2通		5		10	5				
		小計（2科目） <small>※教育実践研究実習Ⅰ、Ⅱも選択可</small>	—	0	10	0	10	5	0	0	0	0
合計（280科目）		—	16	289	0	112	79	15	0	0	兼3	

【令和3年度】

卒業要件及び履修方法

科目区分欄のA～Eは以下のとおり共通的に開設すべき授業科目の領域を示す。
 A:教育課程の編成・実施に関する領域
 B:教科等の実践的な指導方法に関する領域
 C:生徒指導、教育相談に関する領域
 D:学級経営、学校経営に関する領域
 E:学校教育と教員の在り方に関する領域

配当年次欄の開講時期は以下のとおり示す。
 ①:第1クォーター開講科目、②:第2クォーター開講科目、③:第3クォーター開講科目、④:第4クォーター開講科目
 ①～②:第1クォーターから第2クォーターを通して開講する科目、③～④:第3クォーターから第4クォーターを通して開講する科目、通:通年科目

以下のとおり46単位を修得する。

○全コース共通
 ・共通科目 18単位〔共通必修科目 12単位(必修)、コース必修科目 4単位(必修)、大学指定科目 2単位(必修)〕
 ・北海道教育大学の特色ある領域科目 2単位(選択必修)

○学校組織マネジメントコース
 ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕
 ※専門科目の必修 2単位は、「学校組織マネジメントの実践的展開」「学校経営戦略の分析と策定」の2科目2単位を修得。
 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。
 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「校務の情報化推進の理論と実践」「校種間接続力リキウム構築の理論と実践」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。
 ・実習科目 10単位(必修)

○教職キャリア形成・研修デザインコース
 ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕
 ※専門科目の必修 2単位は、「教師の実践研究ネットワークの形成」「学級・授業づくりを通じた教師支援」の2科目2単位を修得。
 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。
 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「校務の情報化推進の理論と実践」「校種間接続力リキウム構築の理論と実践」「学校における外国語教育の推進」「教育相談のケース・スタディ」「生徒指導のケース・スタディ」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。
 ・実習科目 10単位(必修)

○子ども理解・学級経営コース
 ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(選択必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕
 ※専門科目の選択必修 2単位は、「子どもと社会」「キャリア教育の実際と課題」「授業における子どもの行動と心理」「子ども理解のためのアセスメント」から2科目2単位を選択。
 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの上記科目を除く専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。
 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「幼小小の連携と生活科教育」「学校における外国語教育の推進」「教育相談のケース・スタディ」「生徒指導のケース・スタディ」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。
 ・実習科目 10単位(必修)

○教科指導・授業開発コース
 ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(選択必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕
 ※専門科目の選択必修 2単位は、「教科教育研究の理論(〇〇科教育)Ⅰ」「教科教育研究の理論(〇〇科教育)Ⅱ」「教科教育研究の実践と展開(〇〇科教育)Ⅰ」「教科教育研究の実践と展開(〇〇科教育)Ⅱ」「教科内容の体系(〇〇科教育)Ⅰ」「教科内容の体系(〇〇科教育)Ⅱ」から2科目2単位を選択。
 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの上記科目を除く所属教科の専門科目の他、本コースの所属外教科の専門科目、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。
 ※複数コース対応科目は、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」「いじめに関する理論と指導の実際」「学校教育の現代的課題とその対応」「幼小小の連携と生活科教育」「学校における外国語教育の推進」「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。
 ・実習科目 10単位(必修)

○特別支援教育コース
 ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕
 ※専門科目の必修 2単位は、「障害のある子どもの理解と支援Ⅰ」「障害のある子どもの理解と支援Ⅱ」の2科目2単位を修得。
 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。
 ・実習科目 10単位(選択必修)
 ※選択必修10単位は、「教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ」「教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ」の2科目10単位又は「教育実践研究実習Ⅰ」「教育実践研究実習Ⅱ」の2科目10単位を選択。

○養護教育コース
 ・コース科目 16単位〔専門科目 8単位(必修 2単位、選択必修 6単位)、プロジェクト科目 6単位(必修)、演習科目 2単位(必修)〕
 ※専門科目の必修 2単位は、「子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育」「学校医療安全と子どもの安全への実践的対応」の2科目2単位を修得。
 ※専門科目の選択必修 6単位は、本コースの専門科目の他、複数コース対応科目(単位数の上限なし)及び他コースの専門科目(2単位を上限)の中から選択。
 ※複数コース対応科目は、「教育調査のための統計Ⅰ」「教育調査のための統計Ⅱ」から選択。
 ・実習科目 10単位(必修)

〔履修科目の登録の上限〕
 年間38単位(短期履修学生制度を適用する場合は年間50単位)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「〔未開講〕」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【令和4年度】

- ・「子どもと教師の関係づくり」について、担当教員が1名自己都合により退職し、後任を1名補充したため、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・「保健組織活動におけるマネジメント」について、担当教員の後任を1名補充したため、専任教員等の配置を「准教授0名」から「兼任1名」に変更。
- ・「プログラミング教育の実践と課題」について、担当教員を1名変更したため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり」について、担当教員が1名自己都合により退職し、後任を1名補充したため、専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「准教授3、兼任1」に変更。
- ・「教科教育研究の理論（国語科教育）Ⅱ」について、担当教員が1名昇任したため、専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・「教科教育研究の実践と展開（国語科教育）Ⅰ」について、担当教員が1名昇任したため、専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・「教科内容の体系（国語科教育）Ⅰ」について、担当教員が1名昇任したため、専任教員等の配置を「教授5、准教授6、講師2」から「教授6、准教授5、講師2」に変更。
- ・「教科内容の体系（国語科教育）Ⅱ」について、担当教員が1名昇任したため、専任教員等の配置を「教授4、准教授7、講師2」から「教授5、准教授6、講師2」に変更。
- ・「教科内容研究（国語科教育国語学分野）Ⅱ」について、担当教員を1名変更したため、専任教員等の配置を「准教授0」から「講師1」に変更。
- ・「教科内容・教材開発（国語科教育国語学分野）Ⅱ」について、担当教員を1名追加したため、専任教員等の配置を「准教授0」から「講師1」に変更。
- ・「教科教育研究の理論（社会科教育）Ⅱ」について、担当教員が1名自己都合により退職したため、専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・「教科教育研究の実践と展開（社会科教育）Ⅱ」について、担当教員が1名自己都合により退職したため、専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・「教科内容の体系（社会科教育）Ⅰ」について、担当教員が5名自己都合により退職したため、専任教員等の配置を「教授15、准教授5、講師2」から「教授13、准教授3、講師1」に変更。
- ・「教科内容の体系（社会科教育）Ⅱ」について、担当教員が5名自己都合により退職したため、専任教員等の配置を「教授15、准教授5、講師2」から「教授13、准教授3、講師1」に変更。
- ・「教科内容研究（社会科教育社会学・経済学分野）Ⅰ」について、担当教員が2名自己都合により退職し、1名追加したため、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「教科内容・教材開発（社会科教育社会学・経済学分野）Ⅰ」について、担当教員が2名自己都合により退職し、1名追加したため、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「教科内容研究（社会科教育哲学・倫理学分野）Ⅱ」について、担当教員が1名自己都合により退職したため、専任教員等の配置を「教授2、講師1」から「教授2」に変更。
- ・「教科内容・教材開発（社会科教育哲学・倫理学分野）Ⅱ」について、担当教員が1名自己都合により退職したため、専任教員等の配置を「教授2、講師1」から「教授2」に変更。
- ・「教科教育研究の理論（算数・数学科教育）Ⅰ」について、担当教員が1名昇任し、1名追加したため、専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師2」から「教授3、准教授1、講師3」に変更。
- ・「教科教育研究の理論（算数・数学科教育）Ⅱ」について、担当教員が1名昇任し、1名追加したため、専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師2」から「教授3、准教授1、講師3」に変更。
- ・「教科教育研究の実践と展開（算数・数学科教育）Ⅰ」について、担当教員が1名昇任し、1名追加したため、専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1」から「教授3、准教授1、講師2」に変更。
- ・「教科教育研究の実践と展開（算数・数学科教育）Ⅱ」について、担当教員が1名昇任し、1名追加したため、専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2」から「教授2、准教授1、講師3」に変更。
- ・「教科内容の体系（算数・数学科教育）Ⅰ」について、担当教員が1名昇任し、1名追加したため、専任教員等の配置を「教授6、准教授2、講師2」から「教授7、准教授1、講師3」に変更。
- ・「教科内容の体系（算数・数学科教育）Ⅱ」について、担当教員が1名昇任し、1名追加したため、専任教員等の配置を「教授5、准教授2、講師3」から「教授6、准教授1、講師4」に変更。
- ・「教科内容研究（算数・数学科教育代数学分野）Ⅰ」について、担当教員が1名昇任したため、専任教員等の配置を「教授1名、講師1名」から「教授1名、准教授1名」に変更。
- ・「教科内容・教材開発（算数・数学科教育代数学分野）Ⅰ」について、担当教員が1名昇任したため、専任教員等の配置を「教授1名、講師1名」から「教授1名、准教授1名」に変更。
- ・「障害のある子どもの理解と支援Ⅰ」について、担当教員を1名追加したため、専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授2」に変更。
- ・「子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育」について、担当教員の後任を1名補充したため、専任教員等の配置を「准教授0名」から「兼任1名」に変更。
- ・「保健組織活動とエンパワメント」について、担当教員の後任を1名補充したため、専任教員等の配置を「准教授0名」から「兼任1名」に変更。
- ・「いじめに関する理論と指導の実践」について、担当教員が1名自己都合により退職し、1名追加したため、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・「学校教育の現代的課題とその対応」について、担当教員が1名自己都合により退職し、1名追加したため、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。

- (注) 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	265 科目	0 科目	280 科目	15 科目 [0]	265 科目 [0]	0 科目 [0]	280 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・実習・その他	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・実習・その他	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{280} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	254,623㎡	0㎡	0㎡	254,623㎡			
	運動場用地	317,924㎡	0㎡	0㎡	317,924㎡			
	小 計	572,547㎡	0㎡	0㎡	572,547㎡			
	そ の 他	571,699㎡	0㎡	0㎡	571,699㎡			
	合 計	1,144,246㎡	0㎡	0㎡	1,144,246㎡			
(2) 校舎	専 用	112,457㎡	0㎡	0㎡	112,457㎡	大学全体		
	(112,457㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(112,457㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	105室	376室	244室	10室 (補助職員 人)	12室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員数増に伴う整備のため(3) 専任教員数減に伴う整備のため(4)		
	教育学研究科 高度教職実践専攻			206	208		206	
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]
	教育学研究科 高度教職実践専攻	冊	種	点	点	点	利用状況に応じた見直しを行ったため(3)	
		1,006,581 [108,335] 907,664 [108,212] (1,161,887 [118,944]) (996,630 [107,465]) (899,406 [107,598])	26,938 [6,127] 26,212 [6,060] (24,150 [2,329]) (26,938 [6,127]) (26,212 [6,060])	3,848 [3,848] 3,880 [3,880] (4,533 [4,533]) (3,848 [3,848]) (3,880 [3,880])	13,790 12,140 (22,676) (14,227) (11,604)	45 47 (49) (45) (47)		0 (0)
計	26,938 [6,127] 26,212 [6,060] (24,150 [2,329]) (26,938 [6,127]) (26,212 [6,060])	3,848 [3,848] 3,880 [3,880] (4,533 [4,533]) (3,848 [3,848]) (3,880 [3,880])	13,790 12,140 (22,676) (14,227) (11,604)	45 47 (49) (45) (47)	0 (0)	利用状況に応じた見直しを行ったため(4)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体 附属図書館(札幌館) 改修に伴う変更(3) 附属図書館(岩見沢館) 改修等に伴う変更(4)		
	9,520 9,496 9,730㎡		753 691	958,466 872,967				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
	13,374㎡		・テニスコート23面 ・弓道場1棟 ・武道場2棟					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	北海道教育大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
教育学部											
教員養成課程	4	720	-	2,880	学士(教育学)	1.04	1.04	-	平成18	(札幌校) 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号	
国際地域学科	4	285	-	1,140	学士(地域学) 学士(教育学)	1.01	1.02	-	平成26	(旭川校) 北海道旭川市北門町9丁目	
芸術・スポーツ文化学科	4	180	-	720	学士(芸術・スポーツビジネス) 学士(音楽文化) 学士(美術文化) 学士(スポーツ文化)	1.03	1.05	-	平成26	(釧路校) 北海道釧路市城山1丁目15番55号 (函館校) 北海道函館市八幡町1番2号 (岩見沢校) 北海道岩見沢市緑が丘2丁目34番地1	
教育学研究科(修士課程)											
学校教育専攻	2	-	-	-	修士(教育学)	-	-	-	平成4		令和3年度より学生募集停止 令和3年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	-	-	-	修士(教育学)	-	-	-	平成4		
学校臨床心理専攻	2	9	-	18	修士(教育学)	1.05	1.00	-	平成14		
教育学研究科(専門職学位課程)											
高度教職実践専攻	2	80	-	160	教職修士(専門職)	0.82	0.68	-	令和3		
大学全体	-	1,274	-	4,918	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学研究科 専門職学位課程 高度教職実践専攻>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (教職大学院長)	安川 禎亮 <令和3年4月> 修士(教育学)	専	教授 (教職大学院長)	安川 禎亮 <令和3年4月> 修士(教育学)	専	教授 (教職大学院長)	安川 禎亮 <令和3年4月> 修士(教育学)
		教育相談の理論と実際 教師のメンタルヘルスとエンパ ワメント 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教育相談の理論と実際 教師のメンタルヘルスとエンパ ワメント 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教育相談の理論と実際 教師のメンタルヘルスとエンパ ワメント 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	教授	小野寺 基史 <令和3年4月> 教育学士	専	教授	小野寺 基史 <令和3年4月> 教育学士	専	教授	小野寺 基史 <令和3年4月> 教育学士
		インクルーシブ教育の理念と教育課 程 特別支援教育の教育課程と授業の在 り方 特別支援教育コーディネーターの役 割と課題Ⅰ 特別支援教育コーディネーターの役 割と課題Ⅱ インクルーシブ教育実地研究Ⅰ インクルーシブ教育実地研究Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅱ			インクルーシブ教育の理念と教育課 程 特別支援教育の教育課程と授業の在 り方 特別支援教育コーディネーターの役 割と課題Ⅰ 特別支援教育コーディネーターの役 割と課題Ⅱ インクルーシブ教育実地研究Ⅰ インクルーシブ教育実地研究Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅱ			インクルーシブ教育の理念と教育課 程 特別支援教育の教育課程と授業の在 り方 特別支援教育コーディネーターの役 割と課題Ⅰ 特別支援教育コーディネーターの役 割と課題Ⅱ インクルーシブ教育実地研究Ⅰ インクルーシブ教育実地研究Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅱ
専	教授	藤川 聡 <令和3年4月> 博士(人間科学)	専	教授	藤川 聡 <令和3年4月> 博士(人間科学)	専	教授	藤川 聡 <令和3年4月> 博士(人間科学)
		ICTを活用した教育の実践と課 題 学習評価の理論と実際 教科教育研究の理論(技術科教 育)Ⅰ 教科教育研究の理論(技術科教 育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(技 術科教育)Ⅰ 教科教育研究の実践と展開(技 術科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			ICTを活用した教育の実践と課 題 学習評価の理論と実際 教科教育研究の理論(技術科教 育)Ⅰ 教科教育研究の理論(技術科教 育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(技 術科教育)Ⅰ 教科教育研究の実践と展開(技 術科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			ICTを活用した教育の実践と課 題 学習評価の理論と実際 教科教育研究の理論(技術科教 育)Ⅰ 教科教育研究の理論(技術科教 育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(技 術科教育)Ⅰ 教科教育研究の実践と展開(技 術科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	教授	森 健一郎 <令和3年4月> 修士(教育学)	専	教授	森 健一郎 <令和3年4月> 修士(教育学)	専	教授	森 健一郎 <令和3年4月> 修士(教育学)
		アクティブ・ラーニングの理論 と実践 校内研修デザインの理論と実践 Ⅱ 教科教育研究の理論(理科教 育)Ⅰ ※ 教科教育研究の理論(理科教 育)Ⅱ ※ 教科教育研究の実践と展開(理 科教育)Ⅰ ※ 教科教育研究の実践と展開(理 科教育)Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			アクティブ・ラーニングの理論 と実践 校内研修デザインの理論と実践 Ⅱ 教科教育研究の理論(理科教 育)Ⅰ ※ 教科教育研究の理論(理科教 育)Ⅱ ※ 教科教育研究の実践と展開(理 科教育)Ⅰ ※ 教科教育研究の実践と展開(理 科教育)Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			アクティブ・ラーニングの理論 と実践 校内研修デザインの理論と実践 Ⅱ 教科教育研究の理論(理科教 育)Ⅰ ※ 教科教育研究の理論(理科教 育)Ⅱ ※ 教科教育研究の実践と展開(理 科教育)Ⅰ ※ 教科教育研究の実践と展開(理 科教育)Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	姫野 完治 <令和3年4月> 博士(人間科学)
		今日の学力・能力観とカリキュラム・マネジメント 授業研究の理論と実践 教師の実践研究ネットワークの形成 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	准教授	稲葉 浩一 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		子どもと教師の関係づくり いじめに関する理論と指導の実際 学校教育の現代的課題とその対応 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	准教授	川俣 智路 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		子どもの発達と学習 特別支援教育における教育相談と保護者支援 教育実践研究へのアプローチ 個別的教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	准教授	小沼 豊 <令和3年4月> 修士(教育学)
		特別支援教育の視点からの学習指導 生徒指導の実際と今日的課題 学校と教員の文化 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	教授	石塚 博規 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		教科教育研究の理論(英語科教育)Ⅱ 教科教育研究の実際と展開(英語科教育)Ⅰ 学校における外国語教育の推進※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	姫野 完治 <令和3年4月> 博士(人間科学)
		今日の学力・能力観とカリキュラム・マネジメント 授業研究の理論と実践 教師の実践研究ネットワークの形成 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	准教授	稲葉 浩一 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		子どもと教師の関係づくり いじめに関する理論と指導の実際 学校教育の現代的課題とその対応 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	准教授	川俣 智路 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		子どもの発達と学習 特別支援教育における教育相談と保護者支援 教育実践研究へのアプローチ 個別的教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	准教授	小沼 豊 <令和3年4月> 修士(教育学)
		特別支援教育の視点からの学習指導 生徒指導の実際と今日的課題 学校と教員の文化 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	教授	石塚 博規 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		教科教育研究の理論(英語科教育)Ⅱ 教科教育研究の実際と展開(英語科教育)Ⅰ 学校における外国語教育の推進※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	姫野 完治 <令和3年4月> 博士(人間科学)
		今日の学力・能力観とカリキュラム・マネジメント 授業研究の理論と実践 教師の実践研究ネットワークの形成 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
兼任	准教授	稲葉 浩一 <令和4年4月> 修士(教育学)※
		子どもと教師の関係づくり いじめに関する理論と指導の実際 学校教育の現代的課題とその対応 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	准教授	川俣 智路 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		子どもの発達と学習 特別支援教育における教育相談と保護者支援 教育実践研究へのアプローチ 個別的教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専	准教授	小沼 豊 <令和3年4月> 修士(教育学)
		特別支援教育の視点からの学習指導 生徒指導の実際と今日的課題 学校と教員の文化 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	教授	石塚 博規 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		教科教育研究の理論(英語科教育)Ⅱ 教科教育研究の実際と展開(英語科教育)Ⅰ 学校における外国語教育の推進※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専他	教授	岡田 忠雄 <令和3年4月> 博士(医学)	専他	教授	岡田 忠雄 <令和3年4月> 博士(医学)	専他	教授	岡田 忠雄 <令和3年4月> 博士(医学)
	子どもの心身の健康における協働的援助 ※ 学校における医学的課題と探学的研究 ※ 学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			子どもの心身の健康における協働的援助 ※ 学校における医学的課題と探学的研究 ※ 学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			子どもの心身の健康における協働的援助 ※ 学校における医学的課題と探学的研究 ※ 学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ	
専他	教授	北村 博幸 <令和3年4月> 修士(教育学)	専他	教授	北村 博幸 <令和3年4月> 修士(教育学)	専他	教授	北村 博幸 <令和3年4月> 修士(教育学)
	障害のある子どもの理解と支援Ⅱ 特別支援教育のシステムと実際 ※ 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実践 特別支援教育の実践と理論 ※ 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ			障害のある子どもの理解と支援Ⅱ 特別支援教育のシステムと実際 ※ 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実践 特別支援教育の実践と理論 ※ 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ			障害のある子どもの理解と支援Ⅱ 特別支援教育のシステムと実際 ※ 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実践 特別支援教育の実践と理論 ※ 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ	
専他	教授	杉江 光 <令和3年4月> 芸術学 修士	専他	教授	杉江 光 <令和3年4月> 芸術学 修士	専他	教授	杉江 光 <令和3年4月> 芸術学 修士
	教科内容研究(音楽科教育声楽分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(音楽科教育声楽分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科内容研究(音楽科教育声楽分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(音楽科教育声楽分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科内容研究(音楽科教育声楽分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(音楽科教育声楽分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ	
専他	教授	寺田 貴雄 <令和3年4月> 教育学 修士※	専他	教授	寺田 貴雄 <令和3年4月> 教育学 修士※	専他	教授	寺田 貴雄 <令和3年4月> 教育学 修士※
	教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅰ 教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅰ 教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(音楽科教育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅰ 教科教育研究の実践と展開(音楽科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ	
専他	教授	二井 仁美 <令和3年4月> 博士(学術)	専他	教授	二井 仁美 <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	教授	二井 仁美 <令和4年4月> 博士(学術)
	現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	教授	永山 昌史 <令和3年4月> 博士(理学)
		教科内容研究(理科教育物理学分野)Ⅱ 教科内容・教材開発(理科教育物理学分野)Ⅱ 教科内容研究(理科教育生物学分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(理科教育生物学分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	阿部 二郎 <令和3年4月> 修士(教育学)
		へき地・小規模校の実際と課題 教科教育研究の理論(技術科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(技術科教育)Ⅱ 教育研究の実際と展開(技術科教育)Ⅰ 教科教育研究の実際と展開(技術科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	平山 雄二 <令和3年4月> 理学博士
		教科内容の体系(理科教育)Ⅰ※ 教科内容の体系(理科教育)Ⅱ※ 教科内容研究(理科教育化学分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(理科教育化学分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	山崎 隆恵 <令和3年4月> 教育学 修士
		養護活動と保健教育 養護実践の理論と方法 養護教諭の教育活動とキャリア形成 保健室経営の位置づけ及び理論と実践 生徒指導と学校カウンセリングの実際と課題 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	小淵 隆司 <令和3年4月> 修士(教育学)
		障害のある子どもの理解と支援Ⅱ 障害のある子どもの理解と支援Ⅲ 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実践 特別支援教育の実際と理論 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅡ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	教授	永山 昌史 <令和3年4月> 博士(理学)
		教科内容研究(理科教育物理学分野)Ⅱ 教科内容・教材開発(理科教育物理学分野)Ⅱ 教科内容研究(理科教育生物学分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(理科教育生物学分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	阿部 二郎 <令和3年4月> 修士(教育学)
		へき地・小規模校の実際と課題 教科教育研究の理論(技術科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(技術科教育)Ⅱ 教育研究の実際と展開(技術科教育)Ⅰ 教科教育研究の実際と展開(技術科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	平山 雄二 <令和3年4月> 理学博士
		教科内容の体系(理科教育)Ⅰ※ 教科内容の体系(理科教育)Ⅱ※ 教科内容研究(理科教育化学分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(理科教育化学分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	山崎 隆恵 <令和3年4月> 教育学 修士
		養護活動と保健教育 養護実践の理論と方法 養護教諭の教育活動とキャリア形成 保健室経営の位置づけ及び理論と実践 生徒指導と学校カウンセリングの実際と課題 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	教授	小淵 隆司 <令和3年4月> 修士(教育学)
		障害のある子どもの理解と支援Ⅱ 障害のある子どもの理解と支援Ⅲ 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実践 特別支援教育の実際と理論 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅡ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	教授	永山 昌史 <令和3年4月> 博士(理学)
		教科内容研究(理科教育物理学分野)Ⅱ 教科内容・教材開発(理科教育物理学分野)Ⅱ 教科内容研究(理科教育生物学分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(理科教育生物学分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	阿部 二郎 <令和3年4月> 修士(教育学)
		へき地・小規模校の実際と課題 教科教育研究の理論(技術科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(技術科教育)Ⅱ 教育研究の実際と展開(技術科教育)Ⅰ 教科教育研究の実際と展開(技術科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	平山 雄二 <令和3年4月> 理学博士
		教科内容の体系(理科教育)Ⅰ※ 教科内容の体系(理科教育)Ⅱ※ 教科内容研究(理科教育化学分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(理科教育化学分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	山崎 隆恵 <令和3年4月> 教育学 修士
		養護活動と保健教育 養護実践の理論と方法 養護教諭の教育活動とキャリア形成 保健室経営の位置づけ及び理論と実践 生徒指導と学校カウンセリングの実際と課題 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	教授	小淵 隆司 <令和3年4月> 修士(教育学)
		障害のある子どもの理解と支援Ⅱ 障害のある子どもの理解と支援Ⅲ 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実践 特別支援教育の実際と理論 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅡ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専他	准教授	小松 恵美子 <令和3年4月> 修士(教育学)	専他	教授	小松 恵美子 <令和3年4月> 修士(教育学)	専他	准教授	小松 恵美子 <令和3年4月> 修士(教育学)
		教科内容の体系(家庭科教育) I ※ 教科内容の体系(家庭科教育) II ※ 教科内容研究(家庭科教育被服学分野) I 教科内容・教材開発(家庭科教育被服学分野) I 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II			教科内容の体系(家庭科教育) I ※ 教科内容の体系(家庭科教育) II ※ 教科内容研究(家庭科教育被服学分野) I 教科内容・教材開発(家庭科教育被服学分野) I 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II			教科内容の体系(家庭科教育) I ※ 教科内容の体系(家庭科教育) II ※ 教科内容研究(家庭科教育被服学分野) I 教科内容・教材開発(家庭科教育被服学分野) I 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II
専他	准教授	懸田 孝一 <令和3年4月> 修士(文学) ※	専他	准教授	懸田 孝一 <令和3年4月> 修士(文学) ※	専他	准教授	懸田 孝一 <令和3年4月> 修士(文学) ※
		授業における子どもの行動と心理 ※ 子ども理解のためのアセスメント ※ 教育調査のための統計 I ※ 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II			授業における子どもの行動と心理 ※ 子ども理解のためのアセスメント ※ 教育調査のための統計 I ※ 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II			授業における子どもの行動と心理 ※ 子ども理解のためのアセスメント ※ 教育調査のための統計 I ※ 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II
						専他	准教授	田中 雅子 <令和4年4月> 修士(教育学)
								教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II
専他	准教授	川端 美穂 <令和3年4月> 修士(文学) ※	専他	教授	川端 美穂 <令和3年4月> 修士(文学) ※	専他	教授	川端 美穂 <令和3年4月> 修士(文学) ※
		授業における子どもの行動と心理 ※ 子ども理解のためのアセスメント ※ 教育調査のための統計 I ※ 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II			授業における子どもの行動と心理 ※ 子ども理解のためのアセスメント ※ 教育調査のための統計 I ※ 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II			授業における子どもの行動と心理 ※ 子ども理解のためのアセスメント ※ 教育調査のための統計 I ※ 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II
専他	准教授	菅原 利晃 <令和3年4月> 修士(教育学)	専他	准教授	菅原 利晃 <令和3年4月> 修士(教育学)	専他	教授	菅原 利晃 <令和3年4月> 修士(教育学)
		教科教育研究の理論(国語科教育) II 教科教育研究の実践と展開(国語科教育) I 教科内容の体系(国語科教育) I ※ 教科内容の体系(国語科教育) II ※ 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II			教科教育研究の理論(国語科教育) II 教科教育研究の実践と展開(国語科教育) I 教科内容の体系(国語科教育) I ※ 教科内容の体系(国語科教育) II ※ 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II			教科教育研究の理論(国語科教育) II 教科教育研究の実践と展開(国語科教育) I 教科内容の体系(国語科教育) I ※ 教科内容の体系(国語科教育) II ※ 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	准教授	前田 賢次 <令和3年4月> 修士(教育学)
		字級経営と授業づくり 現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育課程編成と字級経営 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	山口 好和 <令和3年4月> 修士(人間科学)
		キャリア教育の実際と課題 授業における子どもの行動と心理 現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	栗野 正紀 <令和3年4月> 修士(教育学)
		子どもと社会 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	瀧美 伸彦 <令和3年4月> 修士(教育学)
		教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅰ 教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅱ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	板谷 厚 <令和3年4月> 博士(体育科学)
		教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(保健体育科教育運動学分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(保健体育科教育運動学分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	准教授	前田 賢次 <令和3年4月> 修士(教育学)
		字級経営と授業づくり 現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育課程編成と字級経営 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	山口 好和 <令和3年4月> 修士(人間科学)
		キャリア教育の実際と課題 授業における子どもの行動と心理 現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	栗野 正紀 <令和3年4月> 修士(教育学)
		子どもと社会 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	瀧美 伸彦 <令和3年4月> 修士(教育学)
		教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅰ 教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅱ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	板谷 厚 <令和3年4月> 博士(体育科学)
		教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(保健体育科教育運動学分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(保健体育科教育運動学分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	准教授	前田 賢次 <令和3年4月> 修士(教育学)
		字級経営と授業づくり 現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育課程編成と字級経営 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	山口 好和 <令和3年4月> 修士(人間科学)
		キャリア教育の実際と課題 授業における子どもの行動と心理 現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	栗野 正紀 <令和3年4月> 修士(教育学)
		子どもと社会 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	瀧美 伸彦 <令和3年4月> 修士(教育学)
		教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅰ 教科教育研究の実際と展開(国語科教育)Ⅱ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	板谷 厚 <令和3年4月> 博士(体育科学)
		教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(保健体育科教育運動学分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(保健体育科教育運動学分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専他	准教授	井筒 勝信 <令和3年4月> 博士(文学)	専他	准教授	井筒 勝信 <令和3年4月> 博士(文学)	専他	准教授	井筒 勝信 <令和3年4月> 博士(文学)
		教科内容の体系(英語科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科内容の体系(英語科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科内容の体系(英語科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	宮前 耕史 <令和3年4月> 修士(学術)	専他	准教授	宮前 耕史 <令和3年4月> 修士(学術)	専他	准教授	宮前 耕史 <令和3年4月> 修士(学術)
		現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	吉野 巖 <令和3年4月> 博士(行動科学)	専他	准教授	吉野 巖 <令和3年4月> 博士(行動科学)	専他	准教授	吉野 巖 <令和3年4月> 博士(行動科学)
		授業における子どもの行動と心理 ※ 子ども理解のためのアセスメント ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			授業における子どもの行動と心理 ※ 子ども理解のためのアセスメント ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			授業における子どもの行動と心理 ※ 子ども理解のためのアセスメント ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	大賀 京子 <令和3年4月> Ph. D.(言語学・英語学)	専他	准教授	大賀 京子 <令和3年4月> Ph. D.(言語学・英語学)	専他	准教授	大賀 京子 <令和3年4月> Ph. D.(言語学・英語学)
		教科内容の体系(英語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(英語科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科内容の体系(英語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(英語科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科内容の体系(英語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(英語科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野)Ⅰ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	川前 あゆみ <令和3年4月> 博士(教育学)	専他	教授	川前 あゆみ <令和3年4月> 博士(教育学)	専他	教授	川前 あゆみ <令和3年4月> 博士(教育学)
		へき地・小規模校の実態と課題 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			へき地・小規模校の実態と課題 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			へき地・小規模校の実態と課題 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専他	准教授	富田 俊明 <令和3年4月> 修士(美術)	専他	准教授	富田 俊明 <令和3年4月> 修士(美術)	専他	准教授	富田 俊明 <令和3年4月> 修士(美術)
		教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(図画工作・美術科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ 教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育絵画分野)Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	阿部 二郎 <令和3年4月> 博士(言語学)	専他	准教授	阿部 二郎 <令和3年4月> 博士(言語学)	専他	准教授	阿部 二郎 <令和3年4月> 博士(言語学)
		個別的教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅰ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			個別的教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅰ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			個別的教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅰ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	齊藤 真善 <令和3年4月> 修士(教育学)	専他	准教授	齊藤 真善 <令和3年4月> 修士(教育学)	専他	准教授	齊藤 真善 <令和3年4月> 修士(教育学)
		障害のある子どもの理解と支援Ⅱ 障害のある子どもの理解と支援Ⅲ 障害のある子どもの理解と支援Ⅳ 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実践 特別支援教育の実践と理論 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ インクルーシブ教育実地研究Ⅰ インクルーシブ教育実地研究Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ			障害のある子どもの理解と支援Ⅱ 障害のある子どもの理解と支援Ⅲ 障害のある子どもの理解と支援Ⅳ 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実践 特別支援教育の実践と理論 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ インクルーシブ教育実地研究Ⅰ インクルーシブ教育実地研究Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ			障害のある子どもの理解と支援Ⅱ 障害のある子どもの理解と支援Ⅲ 障害のある子どもの理解と支援Ⅳ 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実践 特別支援教育の実践と理論 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ インクルーシブ教育実地研究Ⅰ インクルーシブ教育実地研究Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育)Ⅱ
専他	准教授	作田 将三郎 <令和3年4月> 博士(文学)	専他	准教授		専他	准教授	
		教科内容の体系(国語科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(国語科教育)Ⅱ ※ 教科内容研究(国語科教育国語学分野)Ⅱ 教科内容・教材開発(国語科教育国語学分野)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ						
専他	准教授	前上里 直 <令和3年4月> 修士(体育学)	専他	准教授		専他	准教授	
		保健組織活動におけるマネジメント 子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育 保健組織活動とエンバウメント 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	准教授	戸田 竜也 <令和3年4月> 修士(教育学)
		障害のある子どもの理解と支援Ⅰ 特別支援教育のシステムと実態 障害のある子どもの理解と支援Ⅳ 発達障害の心理・行動特性に基づく 指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実 践 特別支援教育の実践と理論 インクルーシブ教育実地研究Ⅰ インクルーシブ教育実地研究Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅱ
専他	准教授	半澤 礼之 <令和3年4月> 博士(心理学)
		教育調査のための統計Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	古川 雄嗣 <令和3年4月> 博士(教育学)
		道徳を基盤とした学級経営 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	菊野 雅之 <令和3年4月> 博士(教育学)
		教科教育研究の理論(国語科教 育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(国 語科教育)Ⅱ 教科内容の体系(国語科教育) Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	石井 洋 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		学級経営と授業づくり 教育課程編成と学級経営 教科教育研究の理論(算数・数 学科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(算数・数 学科教育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(算 数・数学科教育)Ⅰ 教科教育研究の実践と展開(算 数・数学科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	准教授	戸田 竜也 <令和3年4月> 修士(教育学)
		障害のある子どもの理解と支援Ⅰ 特別支援教育のシステムと実態 障害のある子どもの理解と支援Ⅳ 発達障害の心理・行動特性に基づく 指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実 践 特別支援教育の実践と理論 インクルーシブ教育実地研究Ⅰ インクルーシブ教育実地研究Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅱ
専他	准教授	半澤 礼之 <令和3年4月> 博士(心理学)
		教育調査のための統計Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	古川 雄嗣 <令和3年4月> 博士(教育学)
		道徳を基盤とした学級経営 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	菊野 雅之 <令和3年4月> 博士(教育学)
		教科教育研究の理論(国語科教 育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(国 語科教育)Ⅱ 教科内容の体系(国語科教育) Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	石井 洋 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		学級経営と授業づくり 教育課程編成と学級経営 教科教育研究の理論(算数・数 学科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(算数・数 学科教育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(算 数・数学科教育)Ⅰ 教科教育研究の実践と展開(算 数・数学科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	准教授	戸田 竜也 <令和3年4月> 修士(教育学)
		障害のある子どもの理解と支援Ⅰ 特別支援教育のシステムと実態 障害のある子どもの理解と支援Ⅳ 発達障害の心理・行動特性に基づく 指導と支援 特別支援教育の現代的課題と教育実 践 特別支援教育の実践と理論 インクルーシブ教育実地研究Ⅰ インクルーシブ教育実地研究Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅰ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクト(特別支 援教育)Ⅲ 実践論文 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅰ 教育実践研究実習(特別支援教育) Ⅱ
専他	准教授	半澤 礼之 <令和3年4月> 博士(心理学)
		教育調査のための統計Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	古川 雄嗣 <令和3年4月> 博士(教育学)
		道徳を基盤とした学級経営 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	菊野 雅之 <令和3年4月> 博士(教育学)
		教科教育研究の理論(国語科教 育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(国 語科教育)Ⅱ 教科内容の体系(国語科教育) Ⅱ ※ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
専他	准教授	石井 洋 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		学級経営と授業づくり 教育課程編成と学級経営 教科教育研究の理論(算数・数 学科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(算数・数 学科教育)Ⅱ 教科教育研究の実践と展開(算 数・数学科教育)Ⅰ 教科教育研究の実践と展開(算 数・数学科教育)Ⅱ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専他	准教授	松本 哲人 <令和3年4月> 博士(経済学)		専他	准教授	松本 哲人 <令和3年4月> 博士(経済学)		専他	准教授		
		教科内容の体系(社会科教育) I ※ 教科内容の体系(社会科教育) II ※ 教科内容研究(社会科教育社会学・経済学分野) I 教科内容・教材開発(社会科教育社会学・経済学分野) I 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II				教科内容の体系(社会科教育) I ※ 教科内容の体系(社会科教育) II ※ 教科内容研究(社会科教育社会学・経済学分野) I 教科内容・教材開発(社会科教育社会学・経済学分野) I 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II					
専他	准教授	岩永 啓司 <令和3年4月> 修士(教育学)		専他	准教授	岩永 啓司 <令和3年4月> 修士(教育学)		専他	准教授	岩永 啓司 <令和3年4月> 修士(教育学)	
		教科内容の体系(図画工作・美術科教育) I ※ 教科内容の体系(図画工作・美術科教育) II ※ 教科内容研究(図画工作・美術科教育彫刻分野) I 教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育彫刻分野) I 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II				教科内容の体系(図画工作・美術科教育) I ※ 教科内容の体系(図画工作・美術科教育) II ※ 教科内容研究(図画工作・美術科教育彫刻分野) I 教科内容・教材開発(図画工作・美術科教育彫刻分野) I 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II					
専他	准教授	奥寺 繁 <令和3年4月> 博士(農学)		専他	准教授	奥寺 繁 <令和3年4月> 博士(農学)		専他	准教授	奥寺 繁 <令和3年4月> 博士(農学)	
		教科内容研究(理科教育生物学分野) II 教科内容・教材開発(理科教育生物学分野) II 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II				教科内容研究(理科教育生物学分野) II 教科内容・教材開発(理科教育生物学分野) II 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II					
専他	准教授	榎本 顕士 <令和3年4月> 博士(文学)		専他	准教授	榎本 顕士 <令和3年4月> 博士(文学)		専他	准教授	榎本 顕士 <令和3年4月> 博士(文学)	
		教科内容の体系(英語科教育) I ※ 教科内容の体系(英語科教育) II ※ 教科内容研究(英語科教育英語学分野) I 教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野) I 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II				教科内容の体系(英語科教育) I ※ 教科内容の体系(英語科教育) II ※ 教科内容研究(英語科教育英語学分野) I 教科内容・教材開発(英語科教育英語学分野) I 教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II					
								専他	准教授	岡谷 由一 <令和4年4月> 博士(文学)	
											教育実践研究プロジェクト I 教育実践研究プロジェクト II 教育実践研究プロジェクト III 実践論文 教育実践研究実習 I 教育実践研究実習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	教授	梅本 宏之 <令和3年4月> 教育学士 校内研修デザインの理論と実践Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
		中村 吉秀 <令和3年4月> 教育学士 学校における組織的な人材育成と授業改善 教員の働き方と校務の効率化 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
実専	教授	三上 清和 <令和3年4月> 教育学士 子どもの問題行動の実際と実践的対応 総合的な学習の時間の実践と課題 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
		水上 文実 <令和3年4月> 教育学士 地域性を生かした総合的な学習 道徳教育の理論と実践 校種間接続カリキュラム構築の理論と実践 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
実専	教授	野寺 克美 <令和3年4月> 教育学士 管理職に求められるリーダーシップ 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題 学級・授業づくりを通じた教師支援 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
		野寺 克美 <令和3年4月> 教育学士 管理職に求められるリーダーシップ 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題 学級・授業づくりを通じた教師支援 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	教授	梅本 宏之 <令和3年4月> 教育学士 校内研修デザインの理論と実践Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
		中村 吉秀 <令和3年4月> 教育学士 学校における組織的な人材育成と授業改善 教員の働き方と校務の効率化 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
実専	教授	三上 清和 <令和3年4月> 教育学士 子どもの問題行動の実際と実践的対応 総合的な学習の時間の実践と課題 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
		水上 文実 <令和3年4月> 教育学士 地域性を生かした総合的な学習 道徳教育の理論と実践 校種間接続カリキュラム構築の理論と実践 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
実専	教授	野寺 克美 <令和3年4月> 教育学士 管理職に求められるリーダーシップ 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題 学級・授業づくりを通じた教師支援 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
		野寺 克美 <令和3年4月> 教育学士 管理職に求められるリーダーシップ 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題 学級・授業づくりを通じた教師支援 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	教授	梅本 宏之 <令和3年4月> 教育学士 校内研修デザインの理論と実践Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
		中村 吉秀 <令和3年4月> 教育学士 学校における組織的な人材育成と授業改善 教員の働き方と校務の効率化 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
実専	教授	三上 清和 <令和3年4月> 教育学士 子どもの問題行動の実際と実践的対応 総合的な学習の時間の実践と課題 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
		水上 文実 <令和3年4月> 教育学士 地域性を生かした総合的な学習 道徳教育の理論と実践 校種間接続カリキュラム構築の理論と実践 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
実専	教授	野寺 克美 <令和3年4月> 教育学士 管理職に求められるリーダーシップ 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題 学級・授業づくりを通じた教師支援 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
		野寺 克美 <令和3年4月> 教育学士 管理職に求められるリーダーシップ 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題 学級・授業づくりを通じた教師支援 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
実専	教授	竹林 亨 <令和3年4月> 教育学士	実専	教授	竹林 亨 <令和3年4月> 教育学士	実専	教授	竹林 亨 <令和3年4月> 教育学士
		教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
実専	教授	東間 義孝 <令和3年4月> 教育学士	実専	教授	東間 義孝 <令和3年4月> 教育学士	実専	教授	東間 義孝 <令和3年4月> 教育学士
		教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
			実専	教授	前田 雄 <令和3年4月> 教育学士	実専	教授	前田 雄 <令和3年4月> 教育学士
					教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
			実専	教授	秋保 和久 <令和3年4月> 学士(教育学)	実専	教授	秋保 和久 <令和3年4月> 学士(教育学)
					教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
			実専	教授	小澤 一記 <令和3年4月> 経済学士	実専	教授	小澤 一記 <令和3年4月> 経済学士
					教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ			教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			
				鈴木 淳 <令和4年4月> 修士(学校教育学) 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ 実専 教授
				鈴木 耕一 <令和4年4月> 修士(教育学) 校内研修デザイン理論と実践Ⅰ 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ 実専 教授
実専	教授	喜多山 篤 <令和3年4月> 教育学士 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ	喜多山 篤 <令和3年4月> 教育学士 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ	喜多山 篤 <令和3年4月> 教育学士 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
実専	准教授	山中 謙司 <令和3年4月> 修士(教育学) 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ	山中 謙司 <令和3年4月> 修士(教育学) 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ	山中 謙司 <令和3年4月> 修士(教育学) 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
兼任	教授	羽賀 将衛 <令和3年4月> 博士(医学) 学校医療安全と子どもの安全への実践的対応 ※ 学校における医学的課題と探索的研究 ※ 学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント ※	羽賀 将衛 <令和3年4月> 博士(医学) 学校医療安全と子どもの安全への実践的対応 ※ 学校における医学的課題と探索的研究 ※ 学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント ※	羽賀 将衛 <令和3年4月> 博士(医学) 学校医療安全と子どもの安全への実践的対応 ※ 学校における医学的課題と探索的研究 ※ 学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	梅村 武仁 <令和3年4月> 教育学士 学校危機管理の実際と課題	兼任	教授	梅村 武仁 <令和3年4月> 教育学士 学校危機管理の実際と課題	兼任	教授	梅村 武仁 <令和3年4月> 教育学士 学校危機管理の実際と課題
兼任	准教授	小出 高義 <令和3年4月> 教育学 修士 教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅱ 教科教育研究の実際と展開(保健体育科教育)Ⅰ 教科教育研究の実際と展開(保健体育科教育)Ⅱ 教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅱ ※ 生徒指導のケース・スタディ	兼任	准教授	小出 高義 <令和3年4月> 教育学 修士 教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅱ 教科教育研究の実際と展開(保健体育科教育)Ⅰ 教科教育研究の実際と展開(保健体育科教育)Ⅱ 教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅱ ※ 生徒指導のケース・スタディ	兼任	准教授	小出 高義 <令和3年4月> 教育学 修士 教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅰ 教科教育研究の理論(保健体育科教育)Ⅱ 教科教育研究の実際と展開(保健体育科教育)Ⅰ 教科教育研究の実際と展開(保健体育科教育)Ⅱ 教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅰ ※ 教科内容の体系(保健体育科教育)Ⅱ ※ 生徒指導のケース・スタディ
兼任	教授	赤間 幸人 <令和3年4月> 教育学士 学校事務の職務と連携方策 校務の情報化推進の理論と実践	専任	教授	赤間 幸人 <令和3年4月> 教育学士 学校事務の職務と連携方策 校務の情報化推進の理論と実践 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ	専任	教授	赤間 幸人 <令和3年4月> 教育学士 学校事務の職務と連携方策 校務の情報化推進の理論と実践 教育実践研究プロジェクトⅠ 教育実践研究プロジェクトⅡ 教育実践研究プロジェクトⅢ 実践論文 教育実践研究実習Ⅰ 教育実践研究実習Ⅱ
						兼任		山田 浩平 <令和4年4月> 博士(スポーツ健康科学)※ 保健組織活動におけるマネジメント 子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育 保健組織活動とエンパワメント

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

- ・兼任教員の赤間幸人教授が令和3年4月1日付で専任教員（実専）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・前田雄教授が令和3年4月1日付で専任教員（実専）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・秋保和久教授が令和3年4月1日付で専任教員（実専）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・小澤一記教授が令和3年4月1日付で専任教員（実専）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・樺沢公一講師が令和3年4月1日付で専任教員（専他）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・姫野完治准教授が令和3年4月1日付で教授に昇任。
- ・小淵隆司准教授が令和3年4月1日付で教授に昇任。
- ・小野川文子准教授が令和3年4月1日付で教授に昇任。
- ・越川茂樹准教授が令和3年4月1日付で教授に昇任。
- ・小松恵美子准教授が令和3年4月1日付で教授に昇任。
- ・川端美穂准教授が令和3年4月1日付で教授に昇任。
- ・板谷厚准教授が令和3年4月1日付で教授に昇任。
- ・川前あゆみ准教授が令和3年4月1日付で教授に昇任。
- ・前上里直准教授が令和3年8月16日付で死亡により退職。
- ・今村彰生准教授が令和3年6月18日付で異動。
- ・片桐正敏准教授が令和3年4月1日付で教授に昇任。
- ・芳賀均講師が令和3年4月1日付で准教授に昇任。
- ・佐藤正直講師が令和3年4月1日付で准教授に昇任。
- ・山田真由美講師が令和3年4月1日付で准教授に昇任。
- ・作田将三郎准教授が令和3年3月31日付で自己都合退職により就任辞退。後任未定であるが、令和4年4月1日からの配置に向け公募中。
- ・本多尚子准教授が令和3年3月31日付で自己都合退職により就任辞退。
- ・粟林賢准教授が令和2年9月30日付で自己都合退職により就任辞退。

【令和4年度】

- ・福島耕平准教授が令和4年4月1日付で専任教員（専）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・山元研二准教授が令和4年4月1日付で専任教員（専他）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・田中雅子准教授が令和4年4月1日付で専任教員（専他）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・関谷由一准教授が令和4年4月1日付で専任教員（専他）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・小野豪太講師が令和4年4月1日付で専任教員（専他）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・星瑞希講師が令和4年4月1日付で専任教員（専他）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・鈴木淳教授が令和4年4月1日付で専任教員（実専）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・鈴木紳一教授が令和4年4月1日付で専任教員（実専）として就任。本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。
- ・菅原利晃准教授が令和4年4月1日付で教授に昇任。
- ・谷地元直樹准教授が令和4年4月1日付で教授に昇任。
- ・辻柴周平講師が令和4年4月1日付で准教授に昇任。
- ・福葉浩一准教授が令和4年3月31日付で自己都合により退職。令和4年4月1日付で兼任教員として就任。
- ・竹内康浩教授が令和4年3月31日付で自己都合により退職。
- ・二井仁美教授が令和4年3月31日付で自己都合により退職。令和4年4月1日付で兼任教員として就任。
- ・佐々木謙一教授が令和4年3月31日付で自己都合により退職。
- ・Kim Hyun Jin准教授が令和4年3月31日付で自己都合により退職。
- ・松本哲人准教授が令和4年3月31日付で自己都合により退職。
- ・南翔一朗講師が令和4年3月31日付で自己都合により退職。
- ・梅本宏之教授が令和4年3月31日付で任期満了（北海道教育委員会との人事交流）により退職。
- ・山田浩平が令和4年4月1日付で兼任教員として就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A/C教員審査）を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A/C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
13	7	6
名	名	名

(注) ・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文科省告示第五十三号）及び大学院に専攻ことに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
99	90	17	0	206	0	112	79	15	0	206	0
(112)	(81)	(15)	(0)	(208)	(0)						
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数								
192	14	0	4	187	19	0	6				
(190)	(18)	(0)	(3)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
112	79	15	0	206	0	112	79	15	0	206	0
[13]	[Δ11]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[13]	[Δ11]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数								
187	19	0	6	187	19	0	6				
[Δ5]	[5]	[0]	[2]	[Δ5]	[5]	[0]	[2]				

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、履可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、 履出で設置された学経等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	4	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{206}{206} = 100\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{4}{206} = 1.94\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \#DIV/0!\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	作田 将三郎	R3.3	選択	教科内容の体系（国語科教育）Ⅰ	①	R3.3.31付で自己都合退職のため就任辞退（3）						
				選択	教科内容の体系（国語科教育）Ⅱ	①							
				選択	教科内容研究（国語科教育言語学分野）Ⅰ	③							
				選択	教科内容・教科開発（国語科教育言語学分野）Ⅱ	③							
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①							
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①							
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①							
				必修	実践論文	①							
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①							
				選択	教育実践研究実習Ⅱ	①							
2	准教授	本多 尚子	R3.3	選択	教科内容の体系（英語科教育）Ⅰ	①	R3.3.31付で自己都合退職のため就任辞退（3）						
				選択	教科内容の体系（英語科教育）Ⅱ	①							
				選択	教科内容研究（英語科教育英語学分野）Ⅰ	①							
				選択	教科内容・教科開発（英語科教育英語学分野）Ⅱ	①							
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①							
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①							
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①							
				必修	実践論文	①							
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①							
				選択	教育実践研究実習Ⅱ	①							
3	准教授	栗林 賢	R2.9	選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅰ	①	R2.9.30付で自己都合退職のため就任辞退（3）						
				選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅱ	①							
				選択	教科内容研究（社会科教育地理学分野）Ⅰ	①							
				選択	教科内容・教科開発（社会科教育地理学分野）Ⅱ	①							
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①							
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①							
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①							
				必修	実践論文	①							
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①							
				選択	教育実践研究実習Ⅱ	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
3	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	27	科目	選択	25	科目	選択	0	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	30	科目	計	28	科目	計	0	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	稲葉 浩一	R4.3	選択	子どもと教師の関係づくり	②	R4.3.31付で自己都合退職のため（4）
				選択	いじめに関する理論と指導の実際	②	
				選択	学校教育の現代的課題とその対応	②	
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①	
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①	
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①	
				必修	実践論文	①	
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①	
				選択	教育実践研究実習Ⅱ	①	
				2	教授	竹内 康浩	
選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅱ	①					
選択	教科内容研究（社会科教育歴史学分野）Ⅰ	①					
選択	教科内容・教科開発（社会科教育歴史学分野）Ⅱ	①					
選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①					
選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①					
選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①					
必修	実践論文	①					
選択	教育実践研究実習Ⅰ	①					
選択	教育実践研究実習Ⅱ	①					
3	教授	二井 仁美	R4.3	選択	教科課程に即した学習のコミュニティづくり	②	R4.3.31付で自己都合退職のため（4）
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①	
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①	
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①	
				必修	実践論文	①	
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①	
選択	教育実践研究実習Ⅱ	①					

4	教授	佐々木 謙一	R4.3	選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅰ	①	R4.3.31付で自己都合退職のため（4）		
				選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅱ	①			
				選択	教科内容研究（社会科教育分科）Ⅰ	①			
				選択	教科内容・教科実践（社会科教育分科）Ⅰ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①			
				必修	実践論文	①			
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①			
選択	教育実践研究実習Ⅱ	①							
5	准教授	前上里 直	R3.8	選択	保護者協働活動におけるマネジメント	②	R3.8.16付で死亡のため（4）		
				選択	子ども・地域のアセスメントの理論と保護教育	②			
				選択	保護者協働活動とエンパワメント	②			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①			
				必修	実践論文	①			
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①			
				選択	教育実践研究実習Ⅱ	①			
6	准教授	今村 彰生	R3.6	選択	教科内容研究（理科教育分科）Ⅲ	①	R3.6.18付で異動のため（4）		
				選択	教科内容・教科実践（理科教育分科）Ⅴ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①			
				必修	実践論文	①			
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①			
				選択	教育実践研究実習Ⅱ	①			
				選択	教育実践研究実習Ⅲ	①			
7	准教授	Kim Hyun Jin	R4.3	選択	教科教育研究の理論（社会科教育）Ⅱ	①	R4.3.31付で自己都合退職のため（4）		
				選択	教科教育研究の実践と展開（社会科教育）Ⅱ	①			
				選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅰ	①			
				選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅱ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①			
				必修	実践論文	①			
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①			
選択	教育実践研究実習Ⅱ	①							
8	准教授	松本 哲人	R4.3	選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅰ	①	R4.3.31付で自己都合退職のため（4）		
				選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅱ	①			
				選択	教科内容研究（社会科教育分科）Ⅰ	①			
				選択	教科内容・教科実践（社会科教育分科）Ⅰ	①			
				選択	教科内容・教科実践（社会科教育分科）Ⅱ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①			
				必修	実践論文	①			
選択	教育実践研究実習Ⅰ	①							
選択	教育実践研究実習Ⅱ	①							
9	講師	南 翔一朗	R4.3	選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅰ	①	R4.3.31付で自己都合退職のため（4）		
				選択	教科内容の体系（社会科教育）Ⅱ	①			
				選択	教科内容研究（社会科教育分科）Ⅰ	①			
				選択	教科内容・教科実践（社会科教育分科）Ⅰ	①			
				選択	教科内容・教科実践（社会科教育分科）Ⅱ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①			
				必修	実践論文	①			
選択	教育実践研究実習Ⅰ	①							
選択	教育実践研究実習Ⅱ	①							
10	教授	梅本 宏之	R4.3	選択	校内研修デザインの理論と実践Ⅰ	①	R4.3.31付で任期満了（北海道教育委員会との人事交流）のため（4）		
				選択	教育実践研究プロジェクトⅠ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅡ	①			
				選択	教育実践研究プロジェクトⅢ	①			
				必修	実践論文	①			
				選択	教育実践研究実習Ⅰ	①			
				選択	教育実践研究実習Ⅱ	①			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
10	人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	80 科目	選択	73 科目	選択	7 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	90 科目	計	83 科目	計	7 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
13	人	必修	13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	107 科目	選択	98 科目	選択	7 科目	選択	2 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	120 科目	計	111 科目	計	7 科目	計	2 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{206} = \boxed{6.31} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
事前伺い時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学研究科 高度教職実践専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; color: red;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教職大学院授業改善・FD委員会（北海道教育大学FD全学運営委員会規則（添付資料①参照））</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年度においては、委員会を年間4回開催し、授業アンケートや授業交流会について検討した。 委員会は、4キャンパスから各2名ずつ計8名で構成しており、定足数である委員の3分の2以上（6名以上）参加する日程で開催した。 令和4年度においても年間3～4回の開催を予定している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業改善の調査及び研究活動に関する事項、FDの調査及び研究活動に関する事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職大学院授業アンケートの実施 ・ 授業交流会の実施 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職大学院授業アンケートの実施 授業内容等に関するアンケート調査を実施。教育改善に活用。 ・ 授業交流会の実施 授業改善の話し合い活動として実施。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職大学院授業アンケートの実施 令和3年度においてはクォーターごとに年4回実施した。 令和4年度においても年4回実施予定。（クォーターごと） ・ 授業交流会の実施 令和3年度においては、年3回（6月、10月、12月）実施した。 令和4年度においては、年4回実施予定。（6月、8月、10月、12月） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 教職大学院授業アンケート調査の結果を踏まえ、授業交流会を行うことで、授業改善に役立っている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 各クォーターの授業が終了後に実施。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員に対しては授業改善につながるよう共有している。</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

外部委員に関しては、令和4年度の人事異動等により変更が生じているが、構成や人数に変更はない。

教職大学院教育課程連携協議会(計9名:大学4名、外部5名)

(大学:副学長、教職大学院長、カリキュラム委員長、実習委員長)

(外部:北海道教育委員会、札幌市教育委員会、小中学校の教員)

(教育課程連携協議会構成員名簿(添付資料②参照))

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

年1~2回(令和3年度実績:2月に開催1回)

c 委員会の審議事項等

教育課程の編成に関する基本的な事項

授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項

d その他

特になし

② 審議状況

a 審議した内容

- ・ 第4期中期計画の取り組みについて説明の上、外部委員からの意見を聴取
- ・ 修了生の学修成果の状況について、外部委員からの意見を徴収

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

特になし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

特になし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
令和3年度に一般財団法人教員養成評価機構が実施する教職大学院認証評価を受審し、適合認定を受けた。
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
・令和4年3月 公表
b 公表方法
・大学ホームページ上に公開（令和4年3月）
③ 認証評価を受ける計画
・令和4年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の大学機関別認証評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）
a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無]
≪ aで「有」の場合≫
b 公表（予定）時期 [<u>調査結果公表後1ヶ月以内</u> ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
c 公表方法 [<u>ウェブサイトへの掲載</u> ・ その他 ()]
≪ aで公表「無」の場合≫
d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。